15
36
M

第參圖書館
類 屬 西一五 架二 號三六 冊七

佛國

陸軍制度教程書第二編

卷之二

東京圖書館藏書
No 11480

戰時軍隊會計經理之部

目錄

被服事務
聯隊裝具馬車
會計輜重
背後及交換事務
病院事務
事務ノ目的及區別
人員
材料
繃帶所

九·一二·四·四·四

假設病院
傳遞及停車場病院
豫備倉庫
事務ノ施行
繃帶所ノ行務
作戰地一般ノ行務
轉院
ジヨ子ー|ブ條約
創傷人救助會社
一千八百七十八年三月二日ノ條例
外國軍隊ニ於ケル病院事務
獨逸
事務ノ施行
救助會社ノ補助及作用
墺國
第一線ノ病舍
第二線ノ病舍
救助會社ノ補助及作用
伊國
陣中ノ運輸事務
總說
諸種ノ運輸法
航路
海上

河川
鐵道
鐵道運輸ニ關スル方便
道路
定則輜重
補助輜重
車載ニ關スル實驗上ノ量目
事務ノ施行
背後ノ事務
第一線ノ事務
軍團輜重ノ組織
行進順次
補充ノ爲會計輜重ノ使用
會計ノ解算

終

被服事務

命アルヤ即チ軍隊ノ陣中ニ携帶スヘキ諸品ヲ整備スルヤ否ヲ檢査シ其ノ被服ハ猶ホ永期ニ適スヘキ品ヲ簡擇シテ用ユヘシ又保存期ニ至ク必用ト思惟スルキハ之ヲ換給スヘシ背嚢及ヒ鞍嚢ニ屬スル諸品モ亦其整備ヲ要ス大裝具、武器、彈藥、馬具等モ審密ニ之ヲ檢查スルモノトス

軍人ハ總テノ陣具及ヒ屬品ヲ携行スヘシ

前文ノ如ク開戰ノ始メニ方リ軍隊ニ要スル諸品ハ全ク整備スルヲ以テ戰鬪中長途行軍或ハ変戰後ニ於テ臨時換給ノ爲メニ供スル僅少ノ預備品ヲ携行

シテ足レリトス

臨時ノ需用ヲ支ユル爲メ各聯隊ニハ該輜重ノ付屬ト爲シ僅少ノ預備品ヲ備ヘ又會計輜重ニハ稍ヤ多數ノ預備品ヲ備ヘ置クヘシ其編制ヲ左ニ說カン

（聯隊裝具馬車）各歩兵聯隊ハ変換ニ要スル小預備品（半靴及ヒ小裝具等）ヲ所有スヽ而シテ此ノ預備品ハ裝具馬車ト稱シ聯隊輜重ノ一部分タル一匹挽ノ聯隊馬車ニ上載スルモノトス	
半靴	百五十足
麻脚絆	百五十足
シヤツ	百五十箇
腹巻	百五十箇

袴	五十箇

此ノ諸品ハ各五分シテ五箇ノ函ニ收ム其總量ハ殆ト四百基トシ外ニ一函ヲ加ヘテ馬車ノ面積ヲ充實スル而シテ此函ニハ武器、被服裝具ノ修理ニ要スル物品（繩革具ノ類）及ヒ諸器械ヲ收ム

此ノ裝具馬車ヲ有スルハ歩兵聯隊ノミナリ而シテ他ノ諸隊ハ必要ノ場合ニ際スレハ歩兵聯隊或ハ軍團本營ノ預備品ニ就テ其換給ヲ請フヘシ

（會計輜重）戰鬪中被服事務ハ糧食事務ト齊シキ方法ヲ以テ編制スルモノトス然レ𪜈糧食事務ノ如ク緊要ナルモノニアラス何トナレハ動員ノ時期ニ於テ各軍人ハ新調品ニアラサルモ佳良ノ被服ヲ着シ

而シテ交換品ハ内地ノ本管ヨリ送付スル原則タルニヨリ臨時補欠ノ爲メ本營ニ僅少ノ預備品ヲ充備スルヲ以テ足レリトス

軍ノ大本營ニ於テ會計部長ノ權下ニ在ル一名ノ副監督ナシテ被服事務ヲ指揮統理セシム故ニ該副監督ノ許ニハ事務施行ノ爲メ軍吏正一名軍吏（後備軍人員）一名ヲ置ク

該副監督ノ指揮ニヨリ大本營ノ被服事務ヲ施行スル人員左ノ如シ

軍吏
- 下士 一名
- 會計職工 伍長 一名
- 卒 三名

十五名

軍團ノ本營ニ於テハ該會計部長ノ直接權下ニ在テ被服事務ヲ指揮スル爲メ軍吏一名ヲ付ス

軍吏
- 下士 一名

會計職工
- 輜重付 伍長 二名
- 卒 五名

三十四名

- 下士 一名
- 伍長 二名
- 卒 十七名

二十名

五十四名

十一名

歩兵師團ニハ被服事務ノ爲メ軍團本營ノ預備被服及ヒ裝具諸品ヲ擧レハ左ノ如ク編成ナシ

ン

半靴　千四百足
長靴　三百足
麻脚絆　三百足
シヤツ　千二百枚
腹巻（フラヲル）　千二百箇
袴下　五百箇
袴　六百箇
衣（諸種）　千箇
軍帽　千箇

此ノ預備品中各兵科ノ衣袴及ヒ軍帽ハ左ノ比例ニヨリ之ヲ供備スルモノトス

袴	歩兵（内二十五ハ徒歩銃獵兵）	乘馬	四百五十	六百	一千
	砲兵	徒歩（赤色）	四十五		
	騎兵		五十五		
衣	歩兵（内五十ハ徒歩銃獵兵）		七百五十		
	騎兵（胸甲騎兵）		四十五		
	砲兵（銃獵騎兵及ヒ「ユサール」兵）		三十五		
軍帽	歩兵（内五十ハ徒歩銃獵兵）		七百五十		
	騎兵（胸甲騎兵）		四十五		
	砲兵（銃獵騎兵及ヒ「ユサール」兵）		三十五		

此ノ預備品ハ八輛ノ馬車（定則ノ輜重車（フールゴン）三輛ニ匹挽ノ補助車五輛ニ上載シテ糧食輜重縱列ニ隨行ス

（背後及ヒ交換事務）軍隊ノ背後即チ倉庫停車場ニ

於テ陸軍卿ノ制定シタル員數ノ豫備品ハ之ヲ準備シ置クヲ原則トス而シテ軍隊ノ請求ニ應シ該倉庫ヨリ輜重ノ準備品ヲ補充スル爲メ或ハ其他ノ爲メニ要スル被服諸品ヲ輸送スルモノトス

背後ノ倉庫ハ內地本管ヨリ輸送スル諸種物品ノ置場所トス而シテ該倉庫付ノ軍吏ハ軍隊ヘ送致ノ行李員數ハ其ノ送狀ニ照シ之ヲ受領シ其ノ員數量目及ヒ外包ノ現狀ヲ檢査シタルノ後一千八百七十四年六月廿四日陸軍卿ノ回達ニ係ル樣式ノ帳簿ニ記載シ而シテ軍隊ノ需用ニ應シ該軍吏ハ其請求書ニ副監督ノ檢印ヲ受ケ以テ物品ヲ軍隊ニ送致スヘシ但シ軍隊ヘ送致品ノ員數ヲ知ラシムル爲メ送狀ノ寫ヲ回送スルモノナリ

換給ノ被服諸品ハ新製ノ上本管ヨリ倉庫停車場ニ回送シ而シテ之ヲ軍隊ニ致ス此ノ方法ハ前戰役中殊ニ一千八百五十四年、五十五年及ヒ墨西哥戰役ニ於テ之ヲ施行セリ而シテ示後其改訂ヲ爲サス然レトモ此方法ハ恐クハ一千八百五十四年戰役ヨリ駐陣ノ期短キ役或ハ五十九年戰役ヨリ長キ役ニ於テ大雜沓ヲ倉庫停車場或ハ兵站首地ニ生シ殊ニ經理部ニ於テハ適時ニ分配シ得ヘキ物品ヲ送致スルニ困ムコトアルヘシ故ニ多少ノ故障アルモ經理部ニ賴テ被服換給ノ方法ヲ撰用スルヲ可トス

被服ノ交換支給ハ駐陣ノ時期中ニアラサレハ爲シ

得難キモノトス

陣中病院事務

陣中ノ病院事務ヲ司掌スル部署ハ左ノ如シ

聯隊病室

繃帶所及ヒ要塞繃帶所

假病院

轉送繃帶所及ヒ停車場假繃帶所

器械及ヒ藥品豫備倉庫

陣中ニ於ケル聯隊病室ノ事務ハ輕傷ヲ負ヒシ者並ニ徽恙者ニ限リ最初ノ治療ヲ施スニ止マルモノナレハ其ノ人員ノ編制及ヒ陣中ニ提携スヘキ諸器械等ハ平時醫務ノ編ニ於テ既ニ陳述セシニヨリ茲ニ贅セス

陣中ノ繃帶所ハ眞ノ轉旋病院ニシテ軍隊ノ動作ニ隨ヒ之ト俱ニ進退スルモノナレハ負傷者及ヒ病者ニ急劇須要ノ治療ヲ施ス所トス

是ノ故ニ患者ナシテ永期麥ニ滯在セシメサルヲ原則ト爲スヲ以テ可成的速ニ之ヲ病院ニ移轉スヘシ是レ繃帶所ノ進退ニ自由ヲ與フルカ爲メナリ且ツ繃帶所ニハ藥品及ヒ繃帶具器械並ニ運送具等ノ整備スルヲ要ス佛朗西ニ於テハ軍及ヒ軍團ノ各本營歩(騎)兵各師團及ヒ軍團付騎兵各旅團毎ニ一ノ繃帶所ヲ設置ス

背後ニ傳遞ノ患者ヲシテ長途ノ勞苦ヲ避ケシメン

爲メ軍隊ノ通行線上ニ假病院ヲ設ケ繃帶所ヨリ傳遞スル患者ヲ受取リ一定ノ診察並ニ治療ヲ與フ然レ𪜈其患者ノ景狀ニヨリ急遽ヲ要セサルモノニハ其治療ヲ施爲セサルヲ以テ往昔ハ軍隊ノ背後一線上ニ假病院ヲ設ケ內地ノ病院ヘ傳遞スルノ連絡ヲ爲セリ現今ハ鐵道ノ布設日日ニ盛ナルニヨリ運輸ニ頗ル便益ヲ與フ故ニ假病院ノ數ヲ減スルヲ得唯タ傳遞患者ノ昇降及ヒ藥品ヲ保固ニスル爲メ傳送繃帶所ヲ兵站首地及ヒ轉移停車場ニ設置スルヲ以テ足レリトス

假病院ニ在テハ患者ノ喧鬧雜沓ヲ避クル爲メ運輸ニ堪ユヘキモノハ之ヲ轉送繃帶所ヘ送付スルモノトス又屢ヤ繃帶所ヨリ直接ニ轉送繃帶所ニ之ヲ送付スルコアリ

轉送滾車中ニ於テ患者ニ須要ノ援助ヲ與フル爲メ背後ノ停車場ニ假繃帶所ヲ設ク是レ則チ戰地病院ト內地病院トノ連絡ヲ保續スルモノナリ

豫備倉庫ハ軍隊ノ需用ヲ補充スル爲メ其ノ背後即チ倉庫停車場ニ蒐集シタル病院用藥品諸器械等ノ格納所ナリ

人員

各軍病院事務ノ綜理ハ司令官ノ權下ニ在テ其會計部長之ニ任シ而シテ其ノ部下ニ屬スル一ノ副監督ヲシテ該務ヲ補佐セシム又該副監督ニハ病院部軍

吏正一名及ヒ軍吏二名（内一名ハ後備軍醫員）ヲ隷屬セシメ以テ院中詳細ノ經理事務ヲ掌ラシム

軍團ノ病院事務ハ軍團長及ヒ軍ノ會計部長ノ權下ニ在テ該團ノ會計部長之ヲ統理シ病院部軍吏正一名ヲシテ其ノ補佐タラシム

各師團或ハ旅團及ヒ各本營ニ在テハ其ノ經理事務長ナル副監督ハ病院付屬ノ人員及ヒ事務ノ施行上ニ關シ內地病院事務ニ係ル規則中ニ制定セル職權ヲ有ス

現今上等議院ニ於テ審査中ニ係ル行政法憲ノ决定スルキハ病院事務ノ關係ハ大ニ變更ヲ觀ルニ至ヲン其新法憲ニ據レハ事務ノ統理ハ全ク軍醫部ニ屬シ監督部ハ唯病院物具ノ支給、費用ノ支辨及ヒ經理事務ノ撿督ニアラサレハ之ニ干與セス

各軍ニ在テ醫術上ノ統理ハ其ノ軍醫部長即チ軍醫總監ノ任務トシ之ニ軍醫一名ヲ付シテ其補佐タラシム又其ノ藥劑部長即チ藥劑監一名ヲ該總監ノ許ニ置キ之ニ劑官一名ヲ付ス而シテ尚ホ各部長ニハ書記看病人一名宛ヲ付屬セシム

陣中病院ノ事務ニ關スル千八百六十七年四月四日ノ規則ニ據レハ軍醫部長及ヒ藥劑部長ハ軍ノ會計部長ノ許ニ衛生會議ヲ開設シ茲ニ統治スル要件ハ平時陸軍卿ノ許ニ設クル衛生會議ノ論議商推スルコトニ異ナルナシ而シテ該會議ニ於テ討議ノ諸件

ハ司令官ニ申稟シ時機ニヨリ該官ノ決裁ヲ仰クヿアリ

各軍ノ軍醫部長及ヒ藥劑部長ハ一軍ニ付屬スル各部下軍醫及ヒ劑官ノ長ナレハ繃帶所及ヒ病院事務ニ付屬スル軍醫及ヒ劑官ノ名簿ヲ調製シ會計部長ノ允許ヲ得テ適宜ニ命課奉職セシムルヿヲ得

各部長ハ衞生上ニ關シ鴻益アル事項ヲ商議シ軍隊ノ健康上ニ關シ必要ト思維スル件ハ會計部長ヲ經テ之ヲ司令官ニ申告スルモノトス

又各部長ハ內地ノ衞生會議ト事務上ノ往復ヲ爲シ而シテ部下軍醫及ヒ劑官ノ考科表ヲ作リ又衞生上ノ意見書ヲ作リテ其實驗記錄ニ副ヘ順序ヲ經テ俱ニ之ヲ該會議ニ送達ス

各軍團病院事務ノ統理ハ其軍醫部長即チ軍醫監ノ任務ニシテ之ニ軍醫一名（後備軍醫員）ヲ付シテ其補佐タラシム又其ハ許ニ藥劑部長即チ二等藥劑正一名ヲ置ク而シテ各部長ノ職務ト異ナルヿ無シト雖軍ノ大本營ニアル各部長ノ職務ハ軍ノ大本營ニアル各部ケ且ツ之ト事務上ノ往復ヲ爲シ以テ部下醫官及ヒ劑官ノ勤惰ニ關スル報告ヲ爲スモノトス

繃帶所付軍醫長及ヒ藥劑長ノ職務ハ內地病院長ト異ナルヿ無シ

繃帶所付屬ノ人員ヲ擧レハ左ノ如シ

第一　軍ノ大本營繃帶所

軍醫監　一名
軍醫　一名
劑官　一名
軍ノ僧侶長　一名
軍吏　一名
看病人　二名　但シ內一名ハ後備軍艦員
數軍連合シテ一ノ元帥之ヲ統帥スル場合ニ於テハ
其本營ニ同等ノ繃帶所ヲ設ク
二十名
第二　軍團本營繃帶所
二等軍醫正　一名
軍醫　二名
醫官　七名　但シ後備軍艦員

劑官　一名
軍團付高等僧侶　一名
軍吏　三名　但シ內一名ハ後備軍艦員
軍吏（分隊長）　一名
分隊付定員
下士　二名
伍長　一名　七名
卒　四名
繃帶所付
看病人
書記看病人　二名
巡視看病人　六名　四十二名　百六十名
雜役看病人　三十四名
豫備員
書記看病人　三名
巡視看病人　十二名　百十一名

動員ニ當リ師團砲兵聯隊附ノ二等軍醫正ヲ以テ軍團本營繃帶所長ニ充ツ

第三　歩兵師團繃帶所

醫官		三名
劑官		一名
師團付僧侶		一名
軍吏		三名
看病人	書記看病人	四名　但シ內一名ハ後備軍編員
	巡視看病人	三名
	雜役看病人	十二名　百十一名
		九十六名

第四　騎兵師團繃帶所

軍團本營繃帶所ニ同シ

軍醫（一名ハ事務長）		三名
醫官		三名　但シ後備軍編員
師團付僧侶		一名
軍吏		三名
看病人	書記看病人	三名
	巡視看病人	三名　二十七名
	雜役看病人	二十一名

第五　軍團付騎兵旅團繃帶所

軍醫		一名
醫官		三名　但シ後備軍編員
旅團付僧侶		一名
軍吏		二名　但シ內一名ハ後備軍編員

書記看病人　一名
看病人　巡視看病人　三名〜二十一名
雜役看病人　十七名

一軍團ノ繃帶所ニ付屬スル看病人枝隊ハ凡テ該團ノ看病人分隊ニ屬スルモノトス

戰時ニ在テハ各其分隊ニ左ノ二部ヲ付屬ス

一部ハ轉送繃帶所ニ要スル人員ニ充ツル爲メ竝ニ假病院事務設置ノ爲メ一軍會計部長使用ノ豫備員トス

一部ハ內地ニ止留シ一ハ內地ノ病院事務ヲ保固ニシ一ハ戰鬪中出戰軍隊ニ付屬スル看病人ノ欠員ヲ補フ爲メニ供ス又國境內ニ設置スル停車場假繃帶所ニ派遣スヘキ看病人枝隊編成ノ人員ニ充ツ

假病院ノ員數ト其大小ハ豫メ之ヲ確定スルハ目的ニアラスト雖可成的內地病院ニ於ケル如ク寢臺ノ員數ニ應シテ其ノ人員ヲ定メサルヲ得ス而シテ必要ニ際スレハ軍ノ會計部長ハ內地各軍管內ノ豫備人員ヲ以テ之ニ充ッ又軍團本營ノ繃帶所ハ假病院ノ事務ヲ保固ニスル爲メ該所付屬看病人ノ一部ヲシテ臨時派遣スルコトアリ（此ノ人員ハ特種豫備看病人中ヨリ採ルモノナリ）

轉送繃帶所ニ付屬スル人員ハ左ノ如シ

軍醫監若クハ一等軍醫正　一名
醫官　二名（但シ後備軍醫員

軍吏　二名　但内一名ハ後備軍軍員

看病人(豫備ノ部)　八十六名

停車場假繃帶所ニ要スル醫官及ヒ計官ハ其地ノ吏員ヲ以テ之ニ充ツ而シテ看病人一枝隊ヲ付屬セシム

醫官(後備軍軍員或ハ地方醫)　二名

計官(同上軍吏或ハ文官)　一名

陸軍看病人　二十名

物具

(繃帶所)繃帶所ニ要スル物具ハ藥品、繃帶具及ヒ治療器械等是レナリ而シテ此ノ諸品ハ馬車或ハ駄馬ヲ以テ輸送スルモノトス又負傷者運搬用トシテ別ニ馬車若干ヲ備フ

一千八百六十七年四月四日ノ規則ニヨレハ藥品及ヒ繃帶具等ハ總テ大函(カイヽン)ニ収メ本營ノ繃帶所ニハ其ノ六箇歩兵師團ニハ其四箇騎兵師團ニハ其三箇(各繃帶所ニ有スル函ノ内一箇ノ藥品函ナリ)ノ員數ヲ與ヘ其他繃帶所ノ臨時用トシテ若干ノ藥櫃ヲ備フ而シテ此ノ大函ハ二千人分ノ繃帶具ヲ全備スルモノトス故ニ若シ藥品入ノ大函ト藥櫃ヲ除去スレハ本營ノ各繃帶所ニハ少クモ一萬人分歩兵師團ノ各繃帶所ニハ六千人分騎兵師團ノ各繃帶所ニハ四千人分ノ繃帶具ヲ備フヘシ

往昔ノ大函ハ甚タ重量ニシテ輕便ナラサルニヨリ輕量ニシテ且ツ至便ナル二匹挽ノ馬車ニ之ヲ改換

セリ故ニ各繃帶所ニ充ツル繃帶具ノ員數ヲ減殺スルニ至レリ其ノ詳細ヲ左ニ列擧ス

第一　軍ノ大本營繃帶所

治療馬車（一千五百ノ繃帶具入）　一輛
經理部馬車（糧食、貯物並ニ庖厨、藥品等ノ諸器械）　一輛
繃帶所輕馬車（二輪車）　三輛
擔架（アランカール）（輕馬車一輛ニ六個ヲ積ム）　十八個

第二　軍團ノ本營繃帶所

此ノ繃帶ニ供スル諸馬車等ハ師團外ノ諸隊並ニ師團繃帶所ノ豫備ト爲ス

衛生馬車
治療馬車（各一千五百ノ繃帶具入）　三輛
繃帶所藥品馬車　一輛

馬醫用藥品馬車　一輛
經理部馬車　三輛
豫備物具運搬用補助馬車（三輛ニテ千八十ノ繃帶具入）　三輛
糧食秣蒭運搬用馬車　五輛
荷物運搬用聯隊馬車　二輛
繃帶所重馬車（四輪車）　十輛
同輕馬車　二十輛
カコレー（患者ヲ乘スル器具即椅子ノ如キモノニシテ一對ヲ一四ノ牡騾ニ荷ハシム）　三十對
リチエール（右ニ略類似スル器具）　十對
擔架（重馬車一輛ニ十二、輕馬車ハ一輛ニ六ヲ積ム）　二百四十箇

其他左ノ牡騾ヲ付加ス

豫備牡騾（內三匹ハ替鞍ヲ荷フ）　五匹

駄牡　驟（内一匹ハ鍛工具入函一匹ハ道具函一匹ハ踏鐵鉄工ノ豫備品一匹ハ會計書類ヲ）　五　匹

第三　歩兵師團繃帶所

衛生馬車
- 治療馬車　二　輛
- 經理部馬車　二　輛

補助馬車
- 豫備物具入補助馬車（二輛ヨテ一千二百ノ繃帶具入）　二　輛
- 糧食補助馬車　二　輛

荷物聯隊馬車　二　輛

繃帶所重馬車　六　輛

同　輕馬車　二十　輛

負傷者運搬用
- カコレー　五十　對
- リチエールル　五　對
- 擔架　百九十二箇

其他歩兵師團ノ繃帶所ニハ牡驟ヲ以テ運搬スル小繃帶所ノ豫備品ヲ屬セシム其員數左ノ如シ

治療函　一對（七百繃帶具入）　一　匹

經理部函　一對　一　匹

豫備品入函三對

毛布　二束（一束ハ八枚）　三　匹

擔架　二束（一束ハ五箇）　一　匹

燒酎　二樽（一樽ハ三十「リイトル」入）　一　匹

其他左ノ牡驟ヲ付加ス

豫備牡驟（内二匹ハ替鞍ヲ荷フ）　三　匹

駄牡驟（内一匹ハ道具函二匹ハ踏鐵鉄工ノ豫備品）　四　匹

第四　騎兵師團繃帶所

此ノ繃帶所ニハ各旅團ニ一ノ繃帶所ヲ設屬セシムルヲ爲メ旅團ノ員數ニ應シタル小繃帶所用ノ諸品ヲ準備スヘシ而シテ該品ハ上覆アル大函ニ收ムヘシ但シ此ノ準備品中ニハ毛布ヲ含有スルモ擔架及ヒ燒酎ハナシ

三旅團ヲ以テ一師團ヲ編成シタルトキハ左ノ諸品及ヒ車輛ヲ要ス

大函　三箇
重馬車　六輛
擔架　七十二箇

騎兵師團ニ在テハ常ニ駿速ノ動作ヲ要スルカ爲メ其馬車ハ凡テ四匹挽トス但シ「カコレ―」及ヒ「リチエール」ハナシ

第五　軍團付騎兵旅團繃帶所

此ノ繃帶所ニハ毛布及ヒ擔架ヲ除キ步兵師團繃帶所ノ準備品ト同數ノ諸品ヲ備フ而シテ其運行ヲ疾クナラシメン爲メ二輪車ノ聯隊馬車ヲ用ユ其員數左ノ如シ

準備品運搬用聯隊馬車（七百繃帶具）　二輛
糧食運搬用聯隊馬車　二輛
荷物　用聯隊馬車　一輛
豫備品用補助馬車（三百六十繃帶具）　一輛
貧傷者運搬用　輕馬車　六輛
カコレ―　二十對

擔架　三十六箇

其他左ノ牡驟ヲ付加ス

豫備牡驟（內一匹ハ替鞍ヲ荷フ）　二匹

馱牡驟（道具及ヒ蹄鐵ヲ荷フ）　一匹

第六　要塞繃帶所

此ノ特別繃帶所ニハ擔架ヲ除キ小繃帶所ノ準備品ヲ備フ蓋シ此ノ諸品ハ其地方ニヲ陸軍官憲ノ調理スル徵發馬車ヲ以テ輸送ス又創痍者ノ運輸ハ徵發馬車ニ賴リテ之ヲ保固ニスルモノニシテ其員數ハ需用ニ隨ヒ異ナル可シ

繃帶所ノ建設ヲ要スル要塞地及ヒ其員數ハ特別ノ教令ニ由テ定ムルモノトス

（陣中繃帶所ニ適用スヘキ規則）陣中ノ各繃帶所ニ安ンスル佛像及ヒ其供具（一祠ニ備フル一揃）ハ函中ニ納メ一荷物馬車ヲ以テ之ヲ運輸スルモノトス

陣中ノ諸物具ハ豫メ製作シテ常ニ定則ノ員數ヲ車上ニ載セ而シテ之ニ附スルニ名稱詳記ノ小箋ヲ以テスヘシ又病院馬車ノ積荷ハ車內ニ設ケタル抽斗或ハ棚等ニ收メ可成的看病人分隊ノ本部ニ之ヲ備フヘシ

小繃帶所ノ準備品ハ每ニ函入或ハ包荷ト爲シ看病人分隊本部ノ食庫ニ格納スヘシ然レ𪜈獨立騎兵旅團或ハ要塞繃帶所ニ要スル準備品ハ別ニ指定サレタル場所ニ之ヲ格納ス

繃帶所補助馬車ノ積荷（補欠品）ハ籠入、函入或ハ包荷ト爲シ看病人分隊本部ノ倉庫ニ格納ス陣中ノ佛像及ヒ佛器モ亦然リトス

傷痍者運搬用ノ馬車「カコレー」及「リチユール」ハ可成的輜重隊ノ動員地ニ格納スヘシ

各繃帶所ニ使用スル物具ノ摠計ヲ擧ケテ左表ニ示ス

名稱	繃帶具ノ員數	四輪馬車	二輪馬車擔架	カコレー	リチユール	馬	騾
軍ノ本營繃帶所	千五百	二	三十八	〇	〇	七	〇
軍團本營繃帶所	五千五百八十	二十六	二十二百四十三	十對	十對七十四	五十	十
歩兵師團繃帶所	三千七百二十	十五	二十二百二十五	十對五對	十對五十二	七	十
騎兵師團繃帶所	二千百九	〇	七十二	〇	〇	三十六	〇
軍團附騎兵旅團繃帶所	千六十	〇	十二三十六	二十對	〇	十二	二十三
要塞繃帶所	七百	〇	五十	十對	〇	〇	〇

（假病院）往昔假病院ハ戰鬪地方ヨリ、國堺ニ至ル連絡線ヲ接セシヲ以テ最肝要ノモノタリシ蓋シ是レ出戰軍隊ヨリ遠隔ノ本國ヘ患者ヲ傳遞スルニ多クノ困難アルヲ以テ軍隊ノ近傍ニ於テ患者ニ療養ヲ施サヽルヲ得サル等ニヨルナリ

現今ニ在テハ重患者ニシテ容易ニ全癒ノ目途ナキ者ハ之ヲ滊車ニテ本國ヘ送還スルヲ得ヘシ然レ𪜈假病院ハ全ク廢棄シ難キナリ何トナレハ陣中ノ繃

帶所ト轉送繃帶所トノ連絡ヲ保續シ或ハ所屬軍隊ノ進退ニ隨ヒ動搖スヘキ繃帶所ヲ自由ナラシムル爲メニ要スレハナリ

凡ソ假病院ハ必要ニ際シ軍ノ倉計部長ハ司令官ノ許可ヲ得テ之ヲ設置スルモノトス而シテ該病院ニ充ツヘキ家屋ハ敵ノ放棄シタル陸軍病院或ハ市井病院、學校、寺院、營舍、大廈、製造所、倘社等ナリ以上ノ諸家屋ハ居住ニ適セルノミナラス常ニ寢具及ヒ他ノ諸具モ亦多ク備具セルモノナリ然レ𪜈寺院ハ全ク他ニ用ユヘキ家屋無キ時ニ用ユヘシ何トナレハ寺院内ハ概ネ濕氣多ク且ツ其堂宇ノ構造多クハ空氣ノ流通ヲ壅閉スルノ憂アリ若シ適良ノ場所無キ𪜈

ハ天蓬或ハ廠營ヲ以テ該院ニ充ツヘシ抑ヤ病院ノ設置ニ際シ特ニ注意ヲ要スヘキハ空氣流通ノ良否ニアリテ須臾モ苟且スヘカラス蓋シ病院ニ於テ腐敗氣ヲ預防スルノ方術ハ唯タ空氣ヲシテ善ク流通セシムルニ在リ故ニ若シ腐敗ノ萌シアルヤハ直ニ之ヲ廢止シ患者ヲ他ニ移轉セシムヘシ

假病院ノ廢置ハ副監督ノ證告書ヲ以テ之ヲ証明ス」

假病院ニ用ユル物具ハ凡テ内地陸軍病院ノ物具ト同一ナルヲ要ス且ツ寢具ハ可成的多數ニ備ヘ置クヘシ若シ不足アルヤハ患者ニ半支給（半支給ト、蒲團袋毛布一枚敷布一枚）ヲ與フヘシ而シテ此ノ寢具ハ所力及徵發法ヲ以テ其地方ニテ調達シ其補充ハ本國ノ輸送品ヲ以テス

ヘシ

陸軍經理部ニ於テハ百人、二百五十人或ハ五百人入リノ假病院ヲ設置スル爲メ豫テ其準備諸品ヲ貯藏スル爲メ又ハ徵聚物品ヲ補充スル爲メ豫テ其準備諸品ヲ貯藏ス即チ諸種ノ藥劑、繃帶具、寢具、治療器械等ナリ

此ノ諸品運搬ノ難易ヲ知了スル爲メ其函包ノ員數容積及ヒ量目等ヲ詳カニスルヲ緊要トス

今茲ニ一車ヲシテ三米突立方ノ荷物ヲ乘載シ得ルト假定スルトキハ五百人入リ假病院ノ物具ヲ運搬スル爲メ其七十六輛ヲ要シ二百五十人入リニ三十九輛百人入リニハ十五輛ヲ要ス但シ馬車ノ積量ハ平均六百五十八、六百五十或ハ八百基トス

名稱	函包ノ量 最下限	函包ノ量 最上限	諸品ノ總量	諸品ノ總容積
五十人入リノ假病院	六十一函	三十五基	二百七十三基	四萬九千五百三十四基二百二十七米突立方七百五十九
二百五十人入リノ假病院	三百二十九包	四十六基	八十九基五百貝	
	五百寢臺	五十五基		
計七百十	四十一函	四十七基	二百七十三基	
	二百五十寢臺	五十五基		
計四百四	二十四函	五十基	二百七十三基	二萬五千三百四十基百十六米突立方九百八十五
百人入				

リノ假	五十九包	三十二基	八十九基	五百貝
病院	一百寢臺	五十五基	○	
計百八十三	○		○	○
			○	○
一萬千九百六十七基			○	○
五十五米突立方百五十九				

二三ノ假病院ニ要スル諸品ハ豫メ軍ノ預備食庫ニ送付シ置キ其會計部長ノ使用ニ供ス

（轉送繃帶所及ヒ停車場假繃帶所）轉送繃帶所ハ接近ノ假病院或ハ繃帶所ヨリ送ル所ノ患者ヲ受取リ銕道ニ據テ背後ニ之ヲ送還スルヲ任ス而シテ交戰地ニ接續スル總テノ銕道線上轉移停車場或ハ兵站首地ニ於テ之ヲ設ケ可成的各軍團ニ其一ヲ充ツル

一軍團ニ一ノ兵站首地ヲ充ツルヲ陸軍官憲若シ此地ヲ以テ繃帶所ヲ設置スルニ適當ナリト思惟スルトキハ之ヲ設クヘシ然ルトキハ其連絡線上ノ轉移停車場ノ繃帶所ハ之ヲ廢シ其距離遠隔スルトキハ停車場假繃帶所ヲ以テ之ニ代用スルコトアリ

轉送繃帶所ノ人員並ニ物具ハ充分ニ之ヲ準備セサルヘカラス然レトモ若シ不足スルトキハ須要ノ人員ヲ備役スヘシ而シテ又百人入リ假病院ノ物具ヲ準備シ其補欠ハ地方ノ徵聚物具ヲ以テスヘシ

停車場假繃帶所ハ銕道線上重大ナル停車場殊ニ其交線停車場ニ之ヲ設置スヘシ其距離ノ間隔ハ八十乃至百吉羅米突トス而シテ該所ノ要務ヲ擧レハ左

ノ如シ

一　時宜ニヨリ遞送患者ニ食物ヲ支給スルコト

一　患者ニ急遽須要ノ藥品ヲ與ヘ或ハ其病症漸次危篤ニ瀕スルヤハ茲ニ留メテ施療スルコト

一　事故ニヨリ滊車停場中ハ患者ヲ下車休憩セシムルコト

一　轉送繃帶所ニ患者充滿スルヤハ之ヲ補翼スルコト

停車場繃帶所ニハ五十人入リ假病院ト齊一ノ物品ヲ準備スヘシ即チ左ノ如シ

名稱	函包ノ量 最下限	函包ノ量 最上限	諸品ノ總量	諸品ノ總容積
十八函	二十七基五百貝	二百七十三基	○	○
二十五包	四十五基	八十九基五百貝	○	○
五十甕臺	四十七基五百貝	○	○	○
計九十三	○	○	六千三百九十七基五百貝	三十米突立方

此ノ繃帶所ハ一時患者ヲ留ムルノ所ナリ故ニ轉送滊車ノ此ニ殘遺シタル患者ハ可得的速ニ之ヲ病院ニ遞送スルヲ要ス是ニ由テ其近傍ニ於テ繃帶所ヲ設置スヘシ內地ニ在テ停車場假繃帶所ニ充ツヘキ停車場ハ鐵道上等會議ニ於テ之ヲ指定スルモノトス

（豫備倉庫）豫備倉庫ハ概ネ第二線ノ倉庫ニシテ倉

庫停車場ニ之ヲ設置シ以テ軍ノ會計部長ノ所用ニ供スル爲メ左ノ準備品ヲ貯藏ス即チ

五百人入リ假病院ノ準備品
二百五十人入リ假病院ノ準備品
百人入リ假病院ノ準備品
五十人入リ停車場假繃帶所ノ準備品

其他豫備及ヒ交換用トシテ左ノ諸品ヲ格納ス

第一　豫備藥品　此ノ一揃ハ十一函ニ收メ其量ハ九百一基ニシテ容積三米突立方三百三十三ナリ而シテ此ノ一揃ハ二百五十人入假病院ノ準備藥品ニ同シ

第二　豫備繃帶品　此ノ一揃ハ十七籠ニ收メ其量ハ五百五基二百五十貝ニシテ容積一米突立方五百五十二ナリ而シテ此ノ一揃ハ二千三百繃帶品ヲ有ス是レ假病院或ハ治療馬車或ハ小繃帶所ノ藥櫃ヲ補充スル爲メノモノナリ

事務ノ施行

凡ソ平時陸軍病院ニ於テ治療ヲ受クヘキ資格ヲ有スル者ハ陣中ニ於ケルモ繃帶所或ハ假病院ニ於テ治療ヲ受クルヲ得但シ左ニ列擧スル人員ハ本文ニ準シテ治療ヲ受クルヲ得ルト雖モ一切ノ費用ハ自辨タルヘシ

一　將校役員軍屬等ノ書記或ハ下僕ノ名義ニテ

従軍ヲ許可サレタル者
二 經理事務ニ付屬ノ備員
三 請負人及ヒ其手代
四 大藏電信及ヒ鐵道ノ諸役員
五 俘虜者及ヒ外國ノ脫走軍人
六 従軍ノ許可ヲ得他ニ治療ヲ求ムルヿ能ハサル者（但シ司令官ノ特許ヲ得タル者ニ限ル）

入院ノ手續キハ平時ニ異ナルヿ無シト雖交戰ノ日或ハ急遽ノ場合ニ際スルキハ病者或ハ負傷者ハ入院切符ヲ要セス シテ入ルヿヲ許ス而シテ後該患者ノ申告或ハ友人ノ陳辨ニ由ヲ其名籍ヲ調査シ若シ軍隊手牒ヲ携帶セサルキハ其被服ノ徽號等ニヨリテ之ヲ証明スヘシ又繃帶所ニ入リタル俘虜者ニ於テモ同シク名籍等ノ調査ヲ怠ルヘカラス是レ該院付軍吏ノ任務ニシテ切符ヲ有セス入院シタル患者ハ每隊ニ區別シ可成的速ニ其名簿ヲ編纂シテ該隊ニ送ルヘシ該隊ニ在テハ之ヲ審査改訂シタル後計官大尉副官大尉之ニ捺印シテ復タ軍吏ニ還付シ以テ一致ノ入院切符ニ代用セシムルモノトス

陣中ニ於テハ平時ニ反シ患者ハ凡テ各自ノ被服及ヒ武器ヲ提携シテ繃帶所或ハ病院ニ入ルヲ以テ武器ノ保存ヲ鞏定セスンハアルヘカラス故ニ砲兵科ノ屬吏ヲシテ之ヲ兵器簿ニ登記セシメ其ノ保存監査ヲ擔任セシム若シ該屬吏アラサルキハ軍吏ヲシ

テ此ノ事務ヲ擔當セシムヘシ

一ノ繃帶所ヨリ假病院ニ或ハ假病院ヨリ他ノ假病院ニ轉送サレタル軍人モ亦各自ノ武器ヲ提携ス然レ𪜈内地ノ病院ニ轉送サルヽカ或ハ保養休暇ニテ歸國スル𪜈ハ最近ノ砲兵廠ニ之ヲ返納セシムヘシ

死亡者ノ武器ニ於ケルモ亦然リ

内地ノ規則ニ準シ軍吏ハ毎朝前日中ノ患者出入表ヲ調製シ此表中ニ手術後直ニ本隊ニ復歸シタル患者ニ施シタル繃帶ノ員數ヲ詳記スヘシ然レ𪜈交戰ノ日ニ方リテハ患者多數ナルヲ以テ各隊毎ニ調査スルノ暇アラサルニヨリ唯タ繃帶所總体ノ表ヲ作ルモノトス

各繃帶所日々出入表ノ謄書三葉ヲ副監督ニ呈ス副監督ハ其一葉ヲ已ノ付屬スル部團司令官ニ呈シ其一ヲ軍團會計部長ニ呈ス然リ而シテ軍團會計部長ハ該表ニヨリテ軍團繃帶所一般ノ患者出入表ヲ編輯シ其謄書ノ一ヲ軍團長其一ヲ軍ノ會計部長ニ送呈ス

此ノ表ニヨリ軍ノ會計部長ハ一軍ノ管理スル繃帶所及ヒ病院ノ患者出入表ヲ調製セシメ以テ之ヲ司令官ニ呈シ其謄書ヲ軍醫部長ニ送付スヘシ

又毎十日此ノ表ヲ統計シ以テ陸軍卿ニ進呈スヘシ但シ非常ノ場合ニ在テハ該表ヲ調製シ之ヲ進呈スルモノトス

戰時繃帶所及ヒ假病院付ノ軍吏ハ該所ノ死亡者ヲ公證スル爲メ公正官ノ職務ヲ掌ル然レトモ後直ニ繃帶所ニ送ラレタル死亡者ニ於テハ其死亡證書ヲ調製スルノ權ナク有セス此ノ際軍吏ノ任務ハ死亡ナ公證スル爲メニ要スル實蹟ヲ採索シ所管ノ公正官ニ之ヲ送致スルニ限ルモノトス

繃帶所ノ行務

繃帶所ハ運動ノ自由ヲ得以テ己ノ附屬スル各兵團ノ動作ニ從ヲ進退スルヲ原則トス

騎兵旅團ノ繃帶所ハ進行中其ノ後列大隊ニ跟隨スルモノトス

若シ師團進行ノトキハ該團ノ繃帶所ヲ二部ニ分ツ其一部ハ前衛隊ノ後列ニ隨行ス其ノ編成左ノ如シ

カコレー駄牡驟	十匹	
リナエールー同上	二匹	
擔架束 同上	一匹	十四匹
治療函 同上	一匹	
負傷者運搬用輕馬車 五輛		

而シテ他ノ一部ハ師團戰鬪輜重（陣中運輸ノ篇ヲ參看スヘシ）ノ後ニ隨行スルモノトス

若シ又軍團進行ノトキハ第一師團ヨリ分遣サレタル繃帶所ノ一枝隊ハ其ノ前衛隊ノ後列ニ隨行ス其ノ編成左ノ如シ

カコレー駄牡驟 二十五匹

リナエール同上
擔架車　同上　三匹
治療函　同上　一匹　三十匹
負傷者運搬用輕馬車　一匹
十輛

而シテ他ノ一枝隊ハ該師團ノ戰鬪輜重ノ前頭ニ進行シ第二師團ノ繃帶所ハ該師團戰鬪輜重ノ前頭ニ進ミ軍團本營ノ繃帶所ハ縱列聯隊輜重（陣中運輸ノ編ヲ看ルヘシ）ノ前頭ニ進行ス

繃帶所ハ退軍ノ場合ニ於テ其順序位列ハ總テ進行ノ際ト相反轉ス

以上ニ說示セル定規ハ敢テ固守スルモノニアラサルハ明カナリ是レ一ノ原則ニシテ之ニ準據スヘキモ尙ホ實況ニヨリ之ヲ變更セサルヲ得ス

現今ノ法制ニヨレハ總テノ場合ニ於テ副監督ハ事務ノ責任ヲ負フモノナルヲ以テ每ニ司令官ノ命ヲ奉シ該事務ヲ完全ナラシムヘシ

故ニ副監督ハ幕營或ハ舍營地ニ着スルヤ患者ヲ家屋內ニ安居セシムルニ努力シ地方ノ物品（寢臺藁等）ヲ以テ可成的安臥セシメ又近傍ニ馬車ヲ備ヘ病舍前ニハ番兵ヲ置キ以テ之ヲ監守セシムヘシ

戰地一般ノ行務

戰地ニ於テ病院ノ事務ハ一千八百三十二年五月三日命令書ノ規則並ニ陣中衞生事務ニ關スル一千八百六十七年四月四日ノ假規則第二號付錄ニ據テ之

ヲ執行ス此ノ付錄タルヤ現今ノ編制ニ適應セサル條項ヲ存セルモ之ヲ改訂スル爲メ一モ特別教令ノ發表スルヲ覩ルナシ

前文ノ理由ナルヲ以テ今茲ニ戰地ニ於ケル衛生事務ヲ說示セントスルニ方リ現今ノ編制ニヨレハ左ノ解釋ヲ爲サヽルヲ得ス然レヒ可成的從來ノ規則ニ準的スルヲ旨趣トセリ

一千八百六十七年ノ規則ニヨレハ衛生事務ノ指揮並ニ一般ノ責任ハ副監督ノ負擔ニ歸スヽ而シテ戰地ノ行務ニ關スル諸員ハ該副監督ノ權下ニ屬ス若シ副監督ノ代理ヲ要スルヒキ司令官ハ師(旅)團或ハ本營付屬ノ將校ヲ採用シテ之ニ充ツヘシ

凡ソ繃帶所ノ位置ハ可得的敵彈ノ達セサル所ヲ要ス故ニ卑低ノ地又ハ林樹等ニ蔽レタル屋舍ヲ以テ之ニ充ツヘシ若シ適シタル屋舍無キヒキハ廠舍ヲ搆造シ以テ之ニ充ツヘシ且ツ如何ナル場合ニ於ケル戰鬪線後近距離ニ於テ飮水薪炭等ノ自由ヲ得傷痍者ノ運搬ニ尤モ便宜ナル場地ヲ撰用シテ之ヲ設置スヘシ而シテ其最高ノ箇所ニ赤色ノ旗ヲ樹テ若シ又治那伯ノ盟約國ト戰ヲ爲スヒキハ白地ニ赤色ノ十字形ヲ現ハシタル盟約旗ヲ樹テ以テ一般ニ其所在ヲ知ラシムヘシ

副監督ハ戰地ニ在テ繃帶所ヲ占ムヘキ位置ヲ定限スル件ニ就キ總テ司令官ノ命ヲ受クヘシ然レヒ時

機ニ由テハ參謀長ニ之ヲ商議ス又急遽ノ場合ニ際シテハ軍醫長及ヒ軍吏ノ意見ヲ聽キ自ラ之ヲ定ムルコトアリ然ルトキハ直ニ其旨ヲ司令官ニ報告スルモノトス

繃帶所ノ位置撰定サルヽヤ即チ茲ニ衞生馬車及ヒ補助馬車ヲ召集スヘシ又軍吏ハ病室ヲ搆造シ用意ノ藁稭等ヲ以テ臥床ヲ作リ而シテ茲ニ庖厨所ヲ設ケ以テ藥品及ヒ飲料ヲ調理セシメ醫官ノ處方ヲ速ニ執行スル爲メ食物及ヒ其他ノ物品ヲ集メ患者來着セハ安臥セシメ必用ノ物品ヲ之ニ分配スヘシ又醫官ハ患者來着スルヤ即チ治療ヲ施サン爲メ繃帶品及ヒ諸器械等ヲ整備シ若シ醫官不足ナルトキハ地方ヨリ召集シタル醫員ヲ以テシ又戰鬪後ハ隊付醫官ヲ以テ補員ニ充ツヘシ劑官ハ水藥散藥等ノ調劑ニ從事スルナリ

副監督ハ戰鬪ノ始メヨリ負傷者ノ救助及ヒ大繃帶所ヘ之ヲ運搬スル等ノコトニ從事シ又用意アラサルヘカラス小繃帶所ヲ戰地ニ派遣シ之ニ運搬馬車擔架「カコレー」及ヒ「リナエーレ」ノ駐牡驟ヲ付シ以テ隊付醫官ヲ補翼ス此ノ小繃帶所ニハ須要ノ醫官及ヒ經理員並ニ多數ノ看病人ヲ屬セシム

却說戰地ニ於ケル事務ノ編成如何ヲ左ニ擧示ス

隊付醫官ハ治療器具ヲ提携シテ戰鬪線後可成的交戰軍隊ニ近接シ地物ノ掩蔽シタル場所ニ位置ヲ占

據シ各隊毎ニ斯ノ如キ第一ノ救助所ヲ設ク而シテ茲ニ要スル擔架及ヒ運搬具並ニ燒酎製ノ飲料ハ小繃帶所ヨリ仕送リ各隊ノ負傷者ヲ一旦茲ニ集メ急遽須要ノ治療ヲ施シタル後小繃帶所ヘ之ヲ轉送ス」

第一救助所ノ背後最近ノ地ニ於テ小繃帶ハ我カ位置ヲ占メ聯隊ノ救助所ヨリ稍ヤ整備セル第二ノ救助所ヲ編綴スル然レヒ數部ニ派遣シテ可成的歩兵各旅團ニ其一部ヲ充ツルヲ以テ善トス而シテ該各部ニ充ツヘキ醫官、軍吏及ヒ看病人ハ豫メ指定スヘシ蓋シ此ノ小繃帶所ハ各隊ノ救助所ヨリ一層整備セル所ニシテ隊付醫官ノ爲セシ假繃帶ヲ仕替ヘタル後患者ヲ大繃帶所ニ轉送ス但シ各隊及ヒ小繃帶所ニ據テ設クル該場地ヲ總稱シテ救助場所ト云フ

戰地ノ背後適當ノ距離及ヒ運搬ニ最モ便宜ナル中央點ニ於テ(可成的進行線上ニ)大繃帶所ヲ設ケ患者ニ相當ノ繃帶ヲ施シ背後ノ病院ヘ其ノ轉送ヲ掌ル所トス而シテ師團ノ繃帶所ハ該團ノ背後ニ設ケ本營ノ繃帶所ハ兩翼師團ノ繃帶所ニ滿盈スル患者ヲ分擔スル爲メ其ノ中央點ニ位置ヲ占ムヘシ但シ此ノ繃帶所ヲ總稱シテ大繃帶ノ場所ト云フ

戰鬪ノ始マルヤ即チ軍團ノ會計部長ハ背後ニ於テ可成的人家ノアル地ニ假病院ヲ設ケ而シテ該團ニ於テ轉送シ難キ重症患者ヲ受取リ背後ニ轉送スルヲ以テノ治療ヲ施ス所ト爲ス但シ此ノ病院ハ屢々累

日間ニテ廢止スルコトアルヲ以テ戰地ノ病院ト稱ス

此ノ假病院ハ前陳ノ如ク軍隊ノ動作ニ隨ヒ進退スルヿ能ハスト雖モ師團ノ繃帶所ヲシテ進退自由ノ活動ヲ得セシム而シテ轉送輜重車ノ繼所トナス該輜重車ハ繃帶所ヨリ出發シ背後ノ病院或ハ近隣ノ轉送繃帶所迄運轉シ得ヘキ患者ヲ乘行スルモノナリ

今爰ニ負傷者運輸ノ作用ヲ論スルヲ以テ必要ト爲ス則チ負傷セシ場所ヨリ第一救助所ヘ夫レヨリ繃帶所マテ運輸スルノ件是レナリ

軍人ハ負傷ノ輕重ニ拘ハラス其傷所上部ノ機管ヲ

ルヿハ步行シテ救助所ニ到ルヲ得ヘシ又繃帶所ニ到ルノ氣力ヲ有スルモノアルヘシ然レモ傷痍者中多クハ他ノ助力ヲ得サレハ起ツヿ能ハス而シテ交戰地ニ「カコレー」或ハ「リヤエール」ノ駄牡驟ヲ牽行スルヿ難シ故ニ戰鬪中負傷者ハ每ニ擔架或ハ人ノ肩腕ヲ用ヒテ救助所ニ送致セサルヲ得ス

獨逸及ヒ墺國ニ於テハ一中隊ニ三人乃至四人ヲ撰拔シテ擔架手ヲ編成シ平時ヨリ其事ニ訓練セシメ以テ戰鬪中ハ隊附醫官ノ指揮ヲ受ケ其ノ運搬ニ從事セシム

佛朗西ニ於テ前戰役中ハ斯ノ如キ救助法ノ設ケナカリシ然レモ擔架事務ハ各隊ニ設ケタルニアラサ

ルモ經理部ニ於テ之ヲ擔當シ救助場所ニ於テハ常ニ其編綴アリシト思考セリ蓋シ繃帶所ニ屬スル看病人ヲ分遣シテ該事務ヲ負荷セシムルヲ得而シテ師團ノ步兵四聯隊ニ屬スル一百人或ハ一百二十人ノ軍樂隊ヲ以テ看病人ノ援助ト爲セリ

然レ𪜈此ノ人員ハ概シテ負傷者ノ救助及ヒ其運搬上特別ノ教育ヲ受ケサルヿ論ヲ竢タス故ニ不練者ヲシテ負傷者ノ取扱ニ從事セシムル時ハ看護其道ヲ得サルニヨリ輕創ヲシテ重創ニ至ラシムルナリ而シテ專務外ノ業務ニ從事セシムルハ甚タ不可ナリトス是ニ由テ軍人中混雜或ハ疑惑ヲ生シ隨テ其信用ヲ墜墮スルニ至ルヘシ然ラハ如何ナル結果ヲ生スルヤ左ニ之ヲ說カン

負傷者ハ戰友ニ由テ救助ヲ受ケサルヲ得ス而シテ戰友ハ自然各自ノ保護心ヲ懷キ其救助ニ馳驅シ戰地ヲ離レテ復歸セス故ニ一人ノ負傷者アルキハ隊列ヨリ一人乃至二人ノ壯兵ヲ離散セシムルニ至ルヘシ是レ軍隊ノミナラス傷者ノ爲メニモ亦大ナル損害ヲ釀成スルニ至ルヘシ

故ニ獨逸國編制ノ方法ハ最モ撰用シテ可ナルヘシ佛國ニ於テモ同一ノ方法ヲ編制スルハ特ニ近キニ在ヲントス

此ノ方法ヲ編制シテ實施スルト雖𪜈戰鬪中負傷者ノ救助ヲシテ完全無欠ナラシムルヿ恐クハ難カラ

ン然リ而シテ負傷者救助ノ爲メ交戰闌ナルキ其場ニ突入スルヿ能ハス故ニ負傷者ハ一交戰ノ終リマテ其場ニ留止セサルヲ得ス是レ戰鬪ノ恒ニシテ仁惠深ク如何ンニ救助ノ方ヲ盡サントスルモ一般ニ戰爭ノ止ムキニアラサレハ完全ナル救助ヲ施スヿ能ハサルモノトス

然レ𪜈軍人ノ負傷ハ適時ニ之ヲ救助スヘキ事務ノ編設アリ故ニ軍人ハ何等ノ理由アルモ其隊列ヨリ散逸スル能ハサルヿヲ知ルヘシ

負傷者ハ凡テ救助場所ニ於テ急遽須要ノ繃帶ヲ施シタル後運輸馬車ニ乘セ或ハ「カコレー」『リチエーール』ヲ荷ヘル牡騾ニ駄シ而シテ之ヲ繃帶所ニ運送スヘシ故ニ救助場所ハ重モナル作用ハ最初ノ扶助ヲ與フルノミナラス擔架及ヒ運輸馬車等ヲ以テ傷者ノ送致ヲ負擔スルモノトス

繃帶所ニ於テハ傷痍ノ輕重ヲ査シ背後ノ運搬ニ堪ユヘキ者ト堪ヘサル者トヲ殊別スルヿヲ負擔ス故ニ副監督ハ箇所徽發ノ方法ニヨリ夥多ノ馬車ヲ召集シ以テ輜重縱列ヲ編制シ之ニ定員ノ輸卒ヲ付スヘシ而シテ軍團會計部長ノ示シタル假病院或ハ都合ニヨリ最近繃帶所ニ向ヒテ之ヲ轉送スヘシ

病院事務ヲ擔任スル副監督ハ該事務ノ施行上ニ關シ總テ司令官ノ命ヲ受クヘシ又負傷者ノ救助及ヒ之ヲ繃帶所ニ運輸スルノ指揮ヲ掌ルヘシ

而シテ負傷者ヲ公證スル爲メニ要スル件ハ須臾モ忽ニスヘカラス

戰鬪後直ニ副監督ハ總テノ負傷者救助ノ可否ヲ鞏定スル爲メ又戰地ニ猶ホ留止スル負傷者ヲ救助セシムル爲メ戰地ヲ巡視スヘシ其ノ運搬ニハ「カコレー」及ヒ「リチエー ル」ヲ負フタル牡騾ヲ用井テ擔架手ヲ補助セシム而シテ各所ニ分散セル擔架ヲ捜索セシメ又不用ニナリタル救助所ヲ他ニ移轉シ茲ニ要セシ人員及ヒ器具ヲ繃帶所ニ中聚シ箇所ノ徽發或ハ豫備品ヲ以テ破損或ハ紛失及ヒ消耗シタル物具ヲ補充スヘシ

然ルヒ定則ノ運輸車ハ徽發ノ運輸車ト共ニ繃帶所ノ患者轉送ヲ分擔スヘシ然レヒ繃帶所ノ輕(重)馬車ハ他ノ馬車ヲ以テ運輸シ難キ重傷者ヲ轉送スル爲メニ要スル戰地ノ事務ヲ終リタル後ニアラサレハ其使用ニ供スルヿヲ得ス

戰鬪終ルヤ各隊ニ於テハ直ニ軍人ヲ呼集シ以テ其不在人ヲ點檢スヘシ而シテ每中隊一名ノ下士ハ二名ノ兵卒ヲ伴ヒ戰地ニ至リ戰死人ヲ檢査シ公正官ナル計官大尉ニ其旨ヲ申告ス而シテ該下士ハ同伴ノ兵卒二名ト共ニ死亡証書ニ捺印スヘシ然ルヒハ民法上ニ要スル三名ノ保證人ニ適スルユヘ則陣中ニ於ケルモ確實公明ノ死亡證書トナルヘシ若シ所在不分明ナル軍人ニ在テハ其亡失證書ヲ調製スル

ニ限ルヘシ

前文ノ證書ヲ調製シタル後ニアラサレハ其埋葬ヲ爲サヽルモノトス則チ其埋葬方ハ深キ穴ヲ穿チ石灰ヲ收メ死屍ヲ合葬ス馬匹ノ死体モ亦穴ニ埋ムヘシ此ノ爲メニハ土民俘虜者及ヒ雜役兵ヲ使役スヘシ而シテ埋葬事務ハ決シテ等閑ニ付スヘカラス是レ一ニハ死者ヲ鄭重ニスル爲メ一ニハ死屍腐敗スルニハ軍隊ノ衞生上ニ於テ尤モ恐ルヘキ惡疫ノ萌起ヲ豫防スル爲メナリ

繃帶所ニ於テ死亡セル軍人ハ軍吏ノ指揮ニヨリ看病人及ヒ雜役兵ヲシテ其埋葬ヲ爲サシムヘシ故ニ軍吏ハ埋葬ニ先立チ其死亡ヲ公證スル爲メニ要ス

ルヘキ物ト共ニ士官ノ書類及ヒ兵卒ノ手牒ヲ取集メ置クモノトス而シテ縱令死亡人ニ屬スルモ直ニ處置ス爲シ難キ物品及ヒ金錢ハ該軍吏ニ依テ會計部長ノ指定セシ背後ノ病院ニ送致スヘシ是レ相續件ニ關シ制定シタル手續キヲ爲サシムルタメナリ

師團所屬ノ繃帶所若シ本團ニ追隨スル爲メ前進スルヤハ治療中ノ重傷患者ト雖モ可成的背後ニ轉送シ若シ止ムヲ得スシテ轉送シ難キモノハ地方官ニ依賴シ茲ニ繃帶所ノ小枝隊ヲ暫時殘シ置キ前進スヘシ退軍ノ時ニ於テハ轉送ニ堪ヘ難キ負傷者ト雖決テ委去スヘカラス是レ又地方官或ハ萬國共扶會社ヤ員又ハ治那伯締約ニ準據シ敵ニ囑托シテ之ヲ

看護セシムヘシ

（轉送）假病院及ヒ其ノ背後ニ向ヒテ患者ノ運搬ニ用ユル轉送輜重ノ編成ハ最モ意ヲ致スヘシ此ノ輜重一縱列ハ一百名以上ノ負傷者ヲ轉送スルヿ能ハサルニヨリ數多ノ輜重縱列ヲ編綴セサルヲ得ス而シテ各輜重縱列ニハ每ニ看病人ヲ、付隨セシメ時宜ニヨレハ軍醫軍吏等ヲ付スルヿアリ若シ轉送行程數日ニ亘ルヰハ可成的兵站道路ニ據リテ通行スヘシ兵站司令官及ヒ地方官ニ協議シ夜間患者ヲ休息セシムル爲メ此ニ輜重ヲ停ムヘシ

轉送ニ際シテハ最モ緻密ノ注意ヲ致スヘシ然ラサレハ假病院及兵站及ヒ轉送繃帶所ハ速ニ汚穢ノ地トナリ之ニ因テ惡疫流行シ轉送患者ト共ニ諸方ニ蔓延シ終ニ軍隊ノミナラス人民ニ波及スルノ患ヒアリ故ニ轉送スヘキ患者ヲ撰定スルニ意ヲ用ヒ又兵站ニ於テハ患者休憩所ノ設置ニ格別ノ注意ヲ爲スヘシ」

此ノ休憩所ハ衞生上ニ最モ適應スヘキ諸件ヲ有スヘシ則チ出入ノ便利、充分ノ用水ァル地位ヲ要ス而シテ寢藁等ヲ備ヘ數々之ヲ交換スヘシ兵站司令官ハ常ニ休憩所ヲ清潔ニシ土壁ヲ洗滌シ佳良ノ食物ヲ支給シ屢々寢藁ヲ変換スル等ノコヲ監視スヘシ又運輸中休憩所ニ於テ患者ヲ十二時間以上滯留爲サシメサル爲メ馬車繼立所ノ準備アルヤ否ヲ監査セシヘシ

假病院設置ノ地ニ於ケルモ轉送患者ノ休憩所ヲ別格ニ設クヘシ若シ惡疫者アルモ該院ノ患者ニ其傳染ヲ避ケシメンカ爲メナリ

轉送繃帶所ニ於テハ患者ヲ入室慰勞シ須要ノ治術ヲ施スヘシ而シテ兵站司令官ハ患者來着ノ時醫官ヲシテ現在スルヤ否又可成的速ニ患者ヲ休憩セシムルノ用意アルヤ否ヤヲ檢察スヘシ又此ニ於テ傷痍疾病ノ輕重症狀或ハ轉送スヘキ病院ノ位置ニ從ヒ同一ノ方向或ハ同所ニ轉送スヘキ患者ヲ區別シ

故ニ轉送繃帶所在設ノ兵站首地近傍ニ在勤セル一ノ經理部官憲ハ日々內地諸病院ニ於テ患者ヲ容ルヘキ空室ノ實況報告ヲ取纏ムヘシ一千八百七十四年七月一日付規則ニヨレハ軍ノ會計部長ハ此ノ官憲ノ任ヲ帶フル者ノ如シ然リト雖モ該官憲ハ居常此ノ繃帶所ヨリ離隔シタル地方ニアルヲ以テ患者ノ轉送ニ際シ適時其詳細ノ命令ヲ下スニ不便ナラン

轉送繃帶所ヨリ患者ヲ轉送スルニハ特別衛生瀟車ヲ以テスヘシ而シテ患者若シ此瀟車中ニ安居スルヲ得レハ旅人瀟車ヲ備フ然ラサレハ銕道會社ノ注意ニ由テ改造シタル臥床瀟車ヲ以テ之ニ充ツヘシ」

轉送瀟車ニハ看病人並ニ可得的醫官及ヒ患者轉送狀ヲ提携セル軍吏ヲシテ之ニ付隨セシム而シテ此

ノ一行ヲ畢ルヤ諸員ハ猶豫ナク繃帶所ニ復歸スヘシ」

轉送瀉車中ニハ每ニ轉送繃帶所ヨリ支給シタル食物及ヒ藥品等ヲ備フヘシ但費消セサル分ハ隨行人ナレテ繃帶所ニ之ヲ還付セシムヘシ

瀉車到着スルヤ即チ患者ヲ下車セシメ豫メ準備シタル馬車及ヒ擔架ヲ以テ病院ニ之ヲ輸送スヘシ而シテ稍ヤ快癒ニ趣キタル者ハ各隊ノ本部ニ送リ又ハ保養休暇ヲ與ヘテ歸鄉ヲ命スヘシ

治那伯ノ萬國條約

凡ソ陸軍病院ノ事務ヲ講究スルニハ一千八百六十四年八月廿二日治那伯ニ於テ決定ノ萬國締約同六十八年十月廿日同所ニ於テ改正セシ條款ヲ閱讀論究セルヲ要ス

一千八百六十八年ニ於テ改正シタル條款ヲ左ニ擧示ス

第一條　繃帶所及ヒ陸軍病院ハ局外中立ノモノト見做スヘシ故ニ其家屋ニ創痍者或ハ病者ノ止マリテ治療ヲ受クル時日假令永久ナルモ彼我兩軍互ニ尊敬守護スヘキモノトス然レトモ其局外中立タル名義ノ遏止スルハ其屋舍ヲ軍隊ノ守護スル時ニアルヘシ

第二條　總テノ繃帶所及ヒ陸軍病院ニ附屬スル人員即チ監督部役員軍醫軍吏患者運搬係及ヒ軍隊ノ僧侶ハ其事務ニ服從シテ傷者ノ現在ス

ル時期間ハ局外中立タルヘシ

第三條　前文ニ揭クル人員ハ假令敵軍其地ニ襲來スルト雖該繃帶所及ヒ病院ニ在テ該務ヲ繼續執行スヘシ而シテ後此ノ人員ハ軍隊ニ復歸セン爲メ該所ヲ退去スルヲ得ヘシ若シ退去ヲ請願スルトキハ占領軍ノ司令官ハ其出發ノ時日ヲ定ムト雖モ戰況ニヨリ其ノ日限ヲ變更スルヲ得此ノ場合ニ於テハ敵手ニ陷ヰル局外中立ノ權ヲ有スル人員ニハ其權利ヲ保護スル爲メ彼我適應ノ處置ヲ爲スモノトス

第四條　凡ソ陸軍病院ノ諸物具ハ戰鬪公法ヲ以テ處分スルモノトス故ニ該院ニ付屬スル人員退去スルニ當リ私有物品ニアラサレハ携提スルヿ能ハサルヘシ之ニ反シテ繃帶所ノ諸具ハ公法ヲ以テ處分ヲナサヽルモノトス蓋シ繃帶所ト名稱スルハ陣中病院及ヒ其他戰地ニ在テ負傷者並ニ病者ヲ救助スル爲メ軍隊ニ隨從スル假病院等ヲ云フ

第五條　負傷軍人ヲ扶助スル地方人民ハ全ク自由ナルモノニシテ他ヨリ尊敬ヲ受クヘキ者ナリ而シテ彼我兩軍ノ將官ハ慈善心ヲ以テ召集ニ應スル人民ハ局外中立ノ權ヲ有スルヿヲ地方ニ公布スルノ任アリ又各民屋ニ傷者ヲ保養スルトキ其住屋ハ彼我兩軍ノ保護ヲ受クルカ故

ニ住民ハ宿舍供給ノ義務ヲ免レ又戰稅課賦ニ
於ケルモ其一部分ヲ減省セラルヽモノトス

第六條　傷病軍人ハ俱ニ何レノ國管ニ屬スルヲ
問ハス治療ヲ受ルハ彼我ノ區別ナキモノナリ
又司令長官ハ交戰中敵軍ノ負傷者我手ニ陷リタルトキハ其實況ニヨリ彼我協議ノ上速ニ之
ヲ敵軍ノ前哨兵ニ付スルヿヲ得ヘシ又全癒ニ
至ルト雖軍役ニ堪ヘ難キ敵人ハ直ニ其本國ニ
放歸シ其他ノ者ト雖戰役中決シテ再ヒ軍器ヲ
執ラサルヿヲ誓約セシメ其全癒前タリトモ亦
放歸スヘシ（將校ハ戰略上ニ大ナル關係ヲ有ス
ルモノタルヲ以テ此ノ限ニアラス）轉送患者及
ヒ其擔當人員ハ素ヨリ局外中立ノ權ヲ有ス

第七條　病院、繃帶所並ニ轉送繃帶所ニハ万國同
記號ノ旌旗ヲ樹テ其許ニハ必ス國旗ヲ樹立ス
ヘシ而シテ陸軍官憲ハ局外中立ノ人員ニ袖章
ヲ給スヘシ此ノ旌旗並ニ袖章ハ其地質白色ニ
シテ赤色ノ十字形ヲ現シタルモノトス

第八條　万國締約實施ノ詳細ハ彼我兩軍ノ司令
官兩國政府ヨリノ教令書ニ準シ締約中ニ揭ク
ル一般ノ原理ニ基キ之ヲ行フヘシ

此締約ハ万國ニ於テ專ラ慈愛ヲ竭スノ企圖ニ出ツ
ルモノニシテ重モニ治那伯地名一住民「ジュナン」氏ノ
發起ニ係ルモノナリ同氏ハ曾テ戰地ニ於テ軍人ノ

キタリドノ批評ヲ受ケタリ蓋シ袖章付着ニ關シ惡意ヲ企圖シ得ヘシ故ニ今之ヲ論セントス抑々病院事務ニ干與セサルモノモ各自之ヲ付着スルヲ得又盟約旗ハ唯タ繃帶所ノ物具或ハ負傷者ノ運輸ノミナラス他ノ送致ニ用ユル馬車ニモ亦之ヲ樹ツルヲ得ルナリ既ニ七十年戰役ニ於テ彼我ノ軍隊彈藥或ハ兵隊ノ運輸ヲ擁護センカ爲メニ互ニ該旗ヲ用并テ誹謗セシナリ

此ノ誹謗ハ素ヨリ基因スル所アルハ疑ヒ無シ是レ偏ニ締約ノ不完全ナルヿヲ示スニ足ル故ニ締約ヲ追加セント欲スルニ方リ萬國普通ノ刑法ナキ間ハ（此ノ刑法制定シ難キハ論ヲ俟タス）不正ナ爲ス者ハ犯則者タルノ條目ヲ設

屍ヲ暴ラシ或ハ傷痍ヲ受ケ僵仆スル者數多ナルモ之ヲ救恤スルノ方策不完全ナルニヨリ負傷軍人ハ慘酷悲嘆ノ地ニ陷リ其狀態見ルニ忍ヒサルヲ以テ終ニ同愛ノ情誼ヲ感覺セリ其慈善心歐州一般ニ充擴シ竟ニ一會社ヲ設立シ以テ各國軍隊ノ衞生事務ヲ補助スルニ至レリ蓋シ此會社ノ勢力ニヨリ苟クモ開明ヲ以テ稱セラルル國ニ於テハ陣中ノ病院事務ヲシテ局外中立タラシムルヿヲ承諾セリ

此ノ締約ハ獨リ其施行上並ニ實驗ニヨリ加ヘタル改正ノ點ニ就キテ論究シ然ル後万國共扶會社ノ作用並ニ其助力ヲ解說セン

此ノ締約中數條ハ不正ノ所業ヲ導クヘキ門戸ヲ開

クヘシ而シテ各國政府ハ其陸軍刑法中ニ此ノ締約ヲ犯ス者ハ嚴罰ニ處スルノ條ヲ加書セサルヲ得ス然ルニハ此ノ締約ハ戰時ニ在テモ法憲ノ守護スル所トナルナリ

締約ノ第五條ハ甚シキ不正ヲ爲スノ起因トナルヘキ文詞ヲ含メリ何トナレハ總ヘテノ民家ニ旗ヲ樹テ以テ戰稅ト宿舍ノ負荷ヲ脫スルヿヲ得ヘシ是レ傷痍者諸方ニ離散スル故ニ之ヲ精密ニ撿察シテ全癒者ハ直チニ復歸セシムルヿ能ハサルニ因ルナリ」

締約ノ第六條ハ削除シテ可ナルヘシ是レ兵卒ニ在テハ實際施行シ難キモノナリ又此ノ誓約ハ將校ヲシテ甚シキ苦心ノ地位ニ陷ラシムルカ故ニ寧ロ俘虜者タラシンヿヲ望ムヘシ

第六條ニ反シ八條ハ其實施ニ意ヲ注クヘキハ不正ノ所業ヲ防クニ足ルヘキ性質ヲ有ス蓋シ司令官ハ締約ノ原理ニ基キ事務ノ施行ヲ管理スルノ全權ヲ有スル故ニ政府及ヒ司令首長ハ軍隊ノ利益ヲ保護シ不正ノ所業ヲ防遏シ軍人ノ他戰地ニ近接スルヲ禁シ而シテ慈善住民ニ對シ戰稅ノ一部或ハ其全部減省ヲ許可スルヿヲ得ヘシ

貧傷軍人ヲ救助スル共扶會社

各國ノ慈善者ハ其政府ノ戰地貧傷者ノ慘狀ヲ視察シ創痍者救助ノ計畫ヲ爲スト同時ニ於テ相結合シテ一會社ヲ設立スヿヲ名ケテ万國共扶會社ト云フ

而シテ負傷者ノ治療ハ該會社ニ委スト雖モ其助力ニ制限ヲ立テサルヲ得ス

前戰役中該會社ノ二三部ハ各獨立シテ軍隊衛生事務ト同名義ヲ以テ創痍者ノ扶助ニ從事スルヿヲ望ミタリキ是レ大ナル過失ニシテ且ツ實ニ危難ノヿタルヘシ

希望扶助人ハ固ヨリ遠慮ナクシテ誘導セヲレタルニヨリ交戰中創者ヲ救助センカ爲メ反テ屢々戰略ノ妨害ト軍人外ノ者死傷トヲ顧ミス軍人中ニ混入スルヿヲ望メリ

此ノ人員ハ素ヨリ精忠者タルヿ疑ヒナシト雖モ曾テ陸軍紀律ニ服從セサルモノナリ故ニ若シ之ヲシテ戰列隊ニ混入セシムルキハ雜沓ヲ惹キ起スノ原因トナラン又甲軍ヨリ乙軍ノ通行ヲ此ノ如キ人員ニ許可スルハ軍略上眞ニ危殆ト謂ハサルヲ得ス前戰役巴里府攻圍中爲メニ數々危殆ヲ見シヿアリ如何トナレハ軍事ノ秘密ヲ敵軍ニ開示セシヿアレハナリ

亞米利加及ヒ獨逸國ニ於ケル救助會社ハ其創立ヨリ他各國ニ於ケルト全ク其作用ヲ異ニス

亞米利加ニ於テ該會社ノ行務ハ物品ヲ集メ軍ノ衛生部ノ指揮ニ由テ之ヲ輸送スルニ限レリ

獨逸國ニ於ケルモ亦然リ醫師其他希望救助人ハ陸軍卿ノ允可ヲ請サルヲ得ス而シテ該人員ハ軍醫ノ

指揮ヲ受ケ戰地ヨリ遠隔シタル病院事務或ハ轉送
患者ノ看護ヲ負荷ス故ニ救助會社ハ該件ニ必要ナ
ル物品ヲ集メ之ヲ軍隊ニ送達スルニ限リタリ獨國
有名ナル學者ハ此ノ作用ニ就キ各自ノ精忠ヲ顯セ
リ

獨國ノ該會社ハ病院ヲ編設スルノ認可ヲ得タリ然
レ𪜈一病院ニ於テ少クモ二十ノ臥床ヲ備ヘ人員ハ
所管官憲ノ承諾ヲ受ケ軍醫ノ指揮ニヨリテ該務ニ
服スルノ定約タリ私立繃帶所ハ政府ノ認可ヲ得サ
レハ之ヲ設立スルヿ能ハス故ニ其設置ヲ請フヤハ
綿密ニ該所ヲ審査檢定シタル後チ認許スヘシ而シ
テ該所ニハ重患者ニテ大治療ヲ要スル者ハ入ルヽ
ヲ得ス唯タ微恙患者ニ限ルヘシ

（一千八百七十八年三月二日規則）實地ノ經驗ニヨ
リ再ヒ七十年役ノ如キ不正ノ狀態ニ陷井ルノ危難
ヲ避ケン爲メ陸軍卿ハ萬國共扶會社ノ一部ナル佛
國ノ會社ト熟議ノ上一ノ締約ヲ爲セリ而シテ此ノ
締約ハ一千八百七十八年三月二日ヲ以テ一般ノ行
政規則ニ變更セリ其重要ナル條款ヲ左ニ示サント
ス

戰時ニ於テ該會社ノ行務ハ左ノ二項ニ外ナラス

（一）陸軍卿若シクハ司令長官ノ指定シタル背後ノ
地區內ニ於テ出戰軍隊ノ患者ヲ容ルヘキ病院ヲ設
立スルヿ

（二）　背後病院行務ノ一部即チ停車場及ヒ轉送事務ヲ補翼スル（但シ陸軍病院ニ物具ノ乏シキ場合ニ際スルモ陸軍卿若シクハ衛戍ノ特許アルニアラスンハ陣中繃帶所迄其補助ヲ推及スルヿヲ得ス）該會社ハ平時ニ在テ毎六ケ月戰時ノ使用ニ供スル物具現在額ノ報告ヲ陸軍卿ニ上呈スルノ義務アルモノトス

陸（海）軍卿ノ許ニハ該會社々長ヲ以テ其名代タラシムヘシ

各軍團管內ニ於テハ陸軍卿ノ認可ヲ得會社上等會議ニ由テ其會員中ヨリ撰舉シタル管內代理者ヲシテ軍團長ノ許ニ其名代タラシム

戰時ニ在テハ一軍或ハ別働軍團各司令官ノ許ニハ陸軍卿ノ認可ヲ得會社上等會議ニ由テ撰舉シタル軍ノ代理者ヲ以テ其名代タラシム

會社若シ外地ニ於テ事務ノ施行或ハ轉送事務ノ分擔ヲ命セラルヽトキハ陣中鐵道會議ノ許ニ特別代理者ヲ置キ以テ其名代タラシム

會社ニ屬スル人員ハ凡テ佛國人或ハ歸化人ニシテ兵役ノ義務ヲ卒リタル者ニ限ルヘシ然レトモ陸軍卿ハ會社ノ懇願ニヨレハ國民軍ノ後備ニ屬スル人員ハ其社員タルヲ許可ス

社員ハ總テ會社ニ於テ之ヲ採擇ス管內及ヒ其他ノ代理者ハ部下ニ屬スル人名簿ヲ作リ陸軍官憲ニ之

ヲ呈スヘシ若シ人員中ニ變換アルトキハ詳細ニ報道スルモノトス

陣中ニ在テハ社員及ヒ付屬員ハ陸軍法則ヲ遵奉スヘシ若シ犯則者アルトキハ軍法ヲ以テ處分ス

社長ハ會社ト陸軍卿トノ媒介タリ故ニ動員ニ際シレハ陸軍卿ハ社長ニ病院事務補助ノ區域ヲ通報スヘシ又戰鬪中ニ於テハ其區域ヲ擴張セシメ更ニ其行務區域ヲ定ムヘシ

管內代理者ハ陸軍卿ト直接ニ事務上ノ往復ヲ爲サヽルモ總テ請願ノ件ハ軍團長ニ進呈シ管轄地區內ノ事務上ニ關スル月報モ亦之ニ開申スヘシ

戰時陸軍指揮官ノ許ニアル代理者ハ該官ノ命令ヲ遵奉シ其認可ヲ得サレハ一モ其事務ヲ施行スルヲ得ス

戰地或ハ內地ニ於ケルモ會社ハ社立病院ノ位置及ヒ其大小ニ關シ陸軍官憲ト豫テ其商議ヲ遂ケタル後ニアラサレハ之ヲ建設スルヲ得ス之ヲ閉止スルモ亦然リ而シテ設立ノ病院ハ最上限ヲ二百人入最下限ヲ二十人入トスルヲ以テ原則トス

會社ニ於テ必用ノ諸物品ハ自カラ之ヲ調達スルモノトス然レモ場合ニヨレハ陸軍ヨリ之ヲ貸與スルコアルヘシ又攻圍地ニ於テハ食物及ヒ費消物品ハ總テ定則ノ傳票ニヨリ陸軍ヨリ之ヲ交付スルモノナリ但シ其代價ハ會社ニテ辨償ス

會社ノ負擔スル病舍中ニ入ルヘキ病者及ヒ創者ノ種類ハ陸軍官憲之ヲ定ム

此ノ病舍ハ其檢查並ニ軍律上ノ件ニ關シテハ常ニ該舍ニ出入ノ權ヲ有スル陸軍官憲ノ監查ニ屬ス

政府ハ會社ニ對シ治療ヲ受ケタル患者一日一名ニ付一法ノ算當ヲ以テ其代價ヲ支拂フヘシ此ノ支出ハ每月監督部ニ於テ管理スルモノトス但シ延日數ノ檢查ヲ竢テ確定スル爲メ牒簿及ヒ書類等ノ種類ヲ定ム」

會社ノ人員ハ凡テ袖章ヲ有スル而シテ各軍管ノ監督長之ニ捺印シ番號ヲ付シ以テ之ヲ交付ス凡ソ袖章ヲ付着スルモノハ軍管ノ監督長並ニ會社代理者ノ捺印アリテ之ト同番號ナル各自ノ手札ヲ所持スルモノトス

萬國共扶會社ノ一部分(佛國ノ部ハ除ク)ニシテ負傷者ノ救助ヲ希望スル者ハ陸軍卿ノ特許ヲ得テ左ノ三項ニ背カサルヲ之ヲ爲スヲ得ヘシ

一　佛國會社ノ指揮ヲ受クルコト

二　前文ノ規則ヲ遵守スルコト

三　陸軍卿ノ指定セル地區內ニ於テ事務ヲ施行スルコト

外國軍隊ニ於ケル病院事務

前編ニ於テ既ニ外國平時病院事務ノ編制ヲ研究セシ如ク佛國戰時軍隊病院事務比照ノ爲メニ外國戰時該事務ノ施行ヲ茲ニ論究セントス

獨逸國

戰時ニ於テハ各軍團ニ病院事務ノ爲メ左ニ列擧スルモノヲ具フ

一　各隊ニ特別所用ノ人員物具

二　佛國ノ繃帶所ニ齊シキ三派出衛生部

三　十二陣中病院

（一）（各隊）獨乙國ニ於テハ各大隊ニ二名騎兵聯隊ニ三名砲兵聯隊ニハ時機ニヨリ七名或ハ八名ノ醫官ヲ付屬ス

各中隊ハ陣中病院ノ助員一名徒歩各中隊ハ擔架手四名ヲ出スヘシ而シテ擔架手ハ武裝ヲナサシ醫官及ヒ看病人ト異リ治那伯ノ袖章ヲ有セスシテ唯タ赤色ノ袖章ヲ有ス交戰中擔架手ハ陣中病院助員ノ指揮ヲ受ク又擔架手ハ大隊ニ在テハ一ノ軍曹之ヲ指揮スルモノトス

各大隊ニハ藥嚢二箇繃帶品及ヒ擔架四箇ヲ上載スル馬車一輛ヲ備フ

前文ニ由レハ獨乙國ニ於テ各隊ニ備フル人員及ヒ物具ハ佛國ニ比スレハ頗ル饒多ト云フテ可ナリ

（二）（派出衛生部）各軍團ニ屬スル衛生部ノ內其ノ一部ハ各歩兵師團ニ他ノ一部ハ軍團ノ砲兵ニ付屬セシムルカ或ハ預備ニ充ツヘシ即チ其ノ人員及ヒ物具ハ左ノ如シ

醫官及ヒ看病人（軍醫及ヒ劑官　八名）

（陣中病院助員並看病人　十六名）

人員
- 士官　三名
- 計官　一名
- 輜重ノ人員
  - 輜重卒　五十六名
  - 擔架手　百五十四名

具
- 治療馬車　二輛
- 患者輸送馬車　八輛
- 荷物馬車　三輛
- 擔架（内三箇ハ車付キ）　二十八箇

物

「カコレー」及ヒ「リナーエールー」ハナシ牡驟ヲ以テ負傷者ヲ運搬スルハ他國ニ於テハ用井サリシ各派出衛生部ハ二部ニ平分スルコヲ得

前表ニ由テ觀ルキハ獨乙ノ派出衛生部ハ佛國ノ繃帶所ヨリハ甚タ少數ノ物具及ヒ運搬馬車ヲ備フ然レ𪜈聯隊ノ擔架手外尚ホ多數ノ擔架手ヲ使役ス進行中衛生部ノ指揮ハ輜重隊ノ大尉ニ屬スルモ醫長ト商議ノ上タルヘシ而シテ衛生部ノ動搖ヲ命令スルハ獨リ師團長ノ權ニ屬ス

（三）（陣中病院）各軍團ニ十二陣中病院ヲ付屬セリ是レ亦總テ同一ノ編制ニシテ各獨立シテ行務ヲ爲スヲ得ヘシ但シ此ノ病院ハ各二百名ノ患者ヲ治療スルニ足ルヘキ人員及ヒ馬車ヲ備フ即チ左ノ如シ

人員
- 軍醫及劑官　六名
- 吏員　二名
- 屬　

陣中病院助員及看病人　二十六名
輜重付軍人　二十二名
物具　治療馬車　二輛
經理部馬車　三輛
荷物馬車　一輛

此ノ陣中病院ハ二部ニ平分スルヲ得
其他各軍團ニハ陣中病院ニ屬スル人員三倍ノ豫備
員及ヒ物具ノ一縱列ヲ備フ
陣中病院ハ凡テ第一線ノ事務ニ屬シ軍隊ニ尾隨シ
テ運動スルモノナレハ患者治療ノ爲メニ事務ヲ開
設セサル間ハ軍團醫長ノ管理ニ屬ス然リト雖一旦
事務ヲ開設シ戰鬪地區ノ背後ニアル時ハ兵站部ノ
管理ニ變轉ス然ルトキハ一軍ニ屬スル陣中病院ハ凡
テ兵站事務ニ付屬スル醫長ノ權下ニアル軍醫ノ指
揮ヲ受クルモノトス此ノ時ニ當リテハ陣中病院ヲ
變稱シテ戰鬪病院ト唱フ
（事務ノ施行）戰端ヲ開クヤ直ニ隊付醫官ハ戰鬪線
後ノ一點ニ於テ各隊毎ニ集合シ以テ第一救助所ヲ
編成ス聯隊擔架手ハ爰ニ負傷者ヲ運搬シテ急遽須
要ノ手術ヲ施サシム
而シテ後派出衞生部ノ擔架手ハ各師團ノ爲メ指定
サレタル背後ノ一點即チ負傷者集合點ニ傷痍者ヲ
運搬ス此ノ時ニ於テ輕重患者ノ區別ヲ爲スヘシ
而シテ此ノ患者ハ派出衞生部ノ馬車ニ載セ該部ノ

事務所即ヶ繃帶所ニ輸送ス輕患者ハ病体檢査ノ後其儘陣中病院ニ向ケ輸送シ重患者ニ在テハ一旦此ニ受取リ轉送ニ堪ユヘキ爲メノ治療ヲ施スヘシ且ツ該部ハ唯小手術ヲ施スニ止マルト雖萬止ムヲ得サル場合ニ在テハ大治療ヲ施スコトアリ而シテ治療ノ後轉送ニ堪ユヘキ患者ハ其地方ニ於テ調達シタルヲ徵發馬車ヲ用井テ背後ニ之ヲ送ルヘシ

陣中病院ノ作用ハ左ノ三項トス

第一　繃帶所ヨリノ轉送患者ヲ受取リ治療ヲ施スコト

第二　交戰後戰地ニ於テ派出衛生部ヲ補助シ該部ニ於テ轉送シ難キ創痍者ハ之ヲ治療スルコト

第三　本國ヘ輸送ニ堪ユヘキ患者ヲ漸次兵站首地ニ輸送スルコト

故ニ開戰スルヤ軍團ノ醫長ハ背後ニ於テ需要ノ度ニ應シ多クノ陣中病院ヲ開設シ又衞生部ヲ補助スルカ爲メ其二三ヲ戰地ヘ派遣セシム若シ又兵站首地或ハ近隣ノ停車場ニ轉送繃帶所ノ設ケナキ片ハ爰ニ要スル陣中病院ヲ分遣セシムヘシ

交戰後二十四時間ニハ各隊付醫官及ヒ物具ハ該隊ニ派出衛生部ハ該師團ニ追隨スルモノトス

若シ戰況ニヨリ軍隊ト離間スル片ハ既ニ陳辨シタル如ク此ノ陣中病院ハ名稱及ヒ其管轄ヲ變改シ暫

時第二線ノ事務ニ屬スヘシ

患者取扱上ニ關シ兵站事務ハ重モニ戰鬪地區内ニ散在スル總テノ創痍者ヲ呼集シ速ニ鐵道ヲ用井テ本國ニ之ヲ輸送スル事ヲ掌ルヘシ

以上ニヨリ觀察スルヰハ佛國軍隊病院事務ノ施行ハ規則上ニ於テハ獨乙國ト大同小異タリ

戰鬪線後ニ於テ各隊ノ醫官ハ獨佛兩國ノ軍隊ニ在リテハ第一ノ救助所ヲ設ク然レヒ獨國ニ於テハ之ニ屬スル人員及ヒ物具ハ夥多ナルヲ以テ佛國ニ於ケル如ク小繃帶所ノ人員物具ヲ以テ之ヲ補助スルニ及ハス其他佛國ニ於テ聯隊付屬ノ擔架手ヲ編成スル迄ハ戰地ニ於テ負傷者扶助ノ事ハ獨乙國ニ劣ルヘシ

派出衛生部ハ佛國ノ大繃帶所ニ適スヘシ其員數及ヒ作用モ亦異ナル無シト雖獨乙ノ該部ハ佛ノ大繃帶所ニ比スレハ稍ヤ自由ノ動作ヲ爲スヲ得ヘシ

獨乙國ニ於テハ佛國陣中病院ノ作用ヲ爲シ且ツ派出衛生部ト轉送繃帶所トノ連絡ヲ接スル爲メ運轉病院即チ陣中病院(ラザレー)ヲ編設セリ佛國軍隊ニハ此ノ如キ病院ノ施設ナキヲ以テ戰鬪ニ際シ不足ノ物具ヲ以テ遽ニ假病院ヲ設ケサルヲ得ス又時機ニヨリ數日間師團繃帶所ノ運動ヲ止メシムルニ至ル故ニ師團ノ繃帶所ヲ稍ヤ輕便ニシ本營ノ繃帶所ヲ重大ニ爲シ以テ獨國陣中病院ノ作用ヲ爲サシムルヲ良策

トス

（共扶會社ノ加入及ヒ作用）獨乙國ノ共扶會社ハ戰時ニ在テモ獨立シテ事務ヲ施行スルヲ得ス一千八百六十七年以還該社ノ事務ハ陸軍官憲（アンスペクトール）之ヲ總理スルヲ以テ事務ヲ補翼セシメ各軍團ニ屬スル他ノ代理者ハ我カ使用スル豫備人員及ヒ物具ノ用法ヲ制定スルヲ爲メ該團ニ設ケタル兵站首地ニ駐在シ陣中病院付醫長ノ許ニハ已ノ代理者ヲ置クヘシ

社立病院ニ屬スル人員ハ軍隊ノ衛生事務ニ關係スルトキハ全ク陸軍官憲ニ服從スヘシ

該會社ニ於テ事務ヲ專行スル地區ハ第二線ノ行務ニ限ルヘシ然レトモ軍ノ司令長官ノ命ニヨリ稀ニハ他ノ事務ニ干與スルコトアリ

前文ニ由テ觀ルトキハ佛國ノ新規則ハ獨逸國ノ編制ニ彷彿タルヲ知ルニ足ルヘシ

獨乙國ニ於ケル共扶會社ノ作用ヲ約言スレハ左ノ如シ

第一　國民ノ寄贈品ヲ採集シテ陣中病院ニ之ヲ送致配當スルコト

第二　陣中病院事務ノ爲メ豫備看病人及ヒ看病婦ヲ教育スルコト

第三　轉送患者ノ護送人ヲ組織スルコト

第四　内地ニ於テハ社立病院ヲ建設シ或ハ官立病院内ニ於テ事務ノ一部ヲ負擔スルヿ

第五　負傷者及ヒ病者ノ死生ニ關スル件ヲ教示スル司局ヲ設クルヿ

墺國

墺國ニ於テハ陣中病院ノ事務ヲ分チテ二部トス第一線第二線ノ事務是ナリ

（第一線ノ病舍）　各隊ニ屬スル人員物具ヲ除クノ外各軍團ニハ各歩兵師團ニ屬スヘキ三病舍ヲ備フ歩兵三師團ヲ以テ一軍團ヲ編成スル故ニ一ノ病舍ヲ一師團ニ充ツルノ計算而シテ本營付軍人ハ爲メニハ病舍ノ設ケナシ

軍團本營ノ醫長ハ該司令官及ヒ參謀長ノ命ヲ奉シテ軍團ノ衛生事務ヲ指揮統理ス各師團醫長ノ職權ハ其ノ所轄内ニ在テハ軍團醫長ニ異ナルヿナシ

（第一、各隊）　戰時ニ在テハ各大隊ニハ二名ノ醫官及ヒ二名ノ衛生卒（衛生卒ハ繃帶品嚢ヲ負フ）徒歩各中隊ハ（大隊ニ下士一名聯隊ニ曹長一名宛ヲ付シ）三名ノ擔架手ヲ分遣ス但シ各隊ニハ多數ノ醫官ヲ屬スルモ聯隊ノ繃帶品ニ至テハ甚タ微々タルヿニ注目スヘシ

（第二、師團ノ病舍）　師團ノ病舍ニ付屬スル人員物具ハ左ノ如シ

人員	醫官	三名
	衛生兵士官	二名
	衛生兵	九十七名

物具 物具及ヒ準備品馬車
貧傷者運搬用馬車

其他馬車ヲ牽挽スル爲メ輜重隊ノ人員及ヒ馬匹ヲ付ス」

十	輛
十一	輛
二十一	輛

墺國病院ニ關シ殊ニ注目スヘキハ此病舍所屬ノ醫官少數ナルニ、獨乙ニ異ナリテ擔架手ノ編成ナキニ、然レトモ物具及ヒ準備品ハ數日間患者二百五十名ヲ「カコレー」車ニ「リチエヤール」等運搬具ノナキニアリ容レ之ヲ他ニ轉送スルノ間ニ於テ之ヲ療養スルニ足ルヘキモノトス

戰鬪中ニ在リテ此ノ病舍ハ四部ニ區別ス

二ノ救助場所

一ノ假繃帶所

一ノ繃帶所

此ノ救助所ハ戰鬪線後殆ト一千或ハ一千二百步ノ距離ニ於テ設クルモノトス

師團病舍ヨリ各救助所ヘ衞生兵士官一名同卒十八名ニ貧傷者運搬用馬車四輛ヲ付シテ之ヲ分遣セシム而シテ各隊付ノ醫官ハ集合シテ聯隊ノ擔架手戰場ヨリ搬送シタル患者ニ治療ヲ施スヲ以テ師團病舍付ノ醫官ハ此ニ派出セシメス

假繃帶所ハ規則上ニ於テハ救助所ヨリ二千或ハ四千步ノ距離ニ於テ之ヲ設置ス而シテ師團ノ病舍ヨリ衞生卒四十一名ニ貧傷患者運搬用馬車三輛物具馬車四輛ヲ付シテ派出セシム師團付醫官ノ指揮ニ

ヨリ各隊付ノ醫官ヲシテ醫務ヲ掌ラシムルヲ以テ別ニ醫官ヲ派出セス

假繃帶所ハ須要ノ繃帶ヲ施シ患者轉送ノ用意ヲ爲ス所ニシテ直ニ轉送ニ堪ユヘキ患者ト繃帶所ニ於テ治療ヲ爲スヘキ重患者トノ區別ヲ爲スヘシ衞生兵ノ士官ハ部下兵卒ノ指揮轉送輜重付醫官ノ補助、馬車ノ徽集ヲ任スヘシ而シテ該官ノ權下ニ在リテ輜重隊付士官ハ其隊中ノ紀律ヲ保固ニス

假繃帶所ヨリ概ソ三千歩ノ距離ニ於テ繃帶所ヲ設ケ此ニ三名ノ醫官十名ノ衞生兵及ヒ物具馬車六輛ヲ備フ而シテ救助會社ノ衞生縱列ヲ此ニ付屬セシム

會社ハ「トウトコック」派ノ貴族ヲ以テ組織シタルモノナリ該所ニハ五十人ノ重患者ヲ受取リ

假繃帶所ヨリハ稍ヤ大治療ヲ施スヲ得ヘシ又假繃帶所ト轉送停車場或ハ塲合ニヨレハ第二線事務ニ屬スル陣中病院トノ連絡ヲ保固ニス

獨墺兩國病院事務ノ編制ハ稍ヤ異ナルト雖戰地ノ行務ニ至テハ殆ト齊一ノモノタリ然レトモ之ヲ評スルハ獨乙ノ派出衞生部ト墺ノ師團病舍ハ大ニ異ナルモノトス墺國ニハ醫官ノ定員寡少ナルニヨリ每ニ隊付醫官ノ補助ヲ索メサルヲ得サルナリ

（第二線ノ病舍）第二線ノ病舍ハ左ノ如シ

陣中病院

患者滯留所（佛國假病院ニ齊シ）

豫備病院

總テ第二線ノ病舍ハ一軍ノ監督部ニ屬スル衛生事務長醫官ノ指揮ヲ奉シテ其ノ事務ヲ施行スル而シテ此ノ病舍ハ軍團ニ屬セスシテ糧食事務ノ陣中倉庫ニ於ケルカ如ク軍ノ監督部ニ屬スルモノナリ

陣中病院ハ第一線師團病舍ヨリ轉送シタル患者ヲ受取リ之ニ一定ノ治療ヲ與フ又場合ニヨレハ治療ノ爲メ患者ヲ此ニ看護スルカ或ハ背後ニ之ヲ轉送スルヲ掌ル

陣中病院ハ素ヨリ動搖スヘキモノナルヲ以テ其付屬物具ハ進行中定則ノ輜重車ニ乘載スルモノトス然リト雖モ挽馬ハ毎ニ充備セス何トナレハ此ノ病院ハ屢ヤ動搖セサルヲアル故ニ若シ轉院ノ命アルヤ其地方ニテ徵聚シタル馬匹ヲ以テ之ニ充ツルモ妨ケナキヲ以テナリ

陣中病院ヲ分ケテ左ノ二種トス

五百人入リノ病院十三（是レハ分部スルモノ能ハサル）

六百人入リノ病院二十七（是レハ二百人入ノ三部ニ分部スルヲ得）

每一軍團ニハ五百人入リノ病院一六百人入リノ病院二ヲ充ツルヲ恒例トス然レモ此病院ハ軍團ニ從屬セスシテ全ク軍ノ監督部ニ屬スルモノトス

陣中病院ノ組織ハ左ノ如シ

醫官	病院
十名	五百人入リ　六百人入リ
	十三名

士官及ヒ軍屬	七名	八名
衞生兵	百三十一名	二百名
物具馬車	二十輛	二十六輛

陣中病院ハ軍隊ノ前進ニ方リ一兵站ノ間隔ニ於テ其所屬ノ軍團ニ追從スヘシ而シテ每ニ分部シ得ヘキ病院ヲシテ前行ニ在ラシム此前行病院ハ患者ヲ容レテ其進行ヲ止ム然レ𪜈其移轉ナシテ容易ナラシメンカ爲メ同時ニ多數ノ病院ヲ使用セサラン「ヿ」ヲ要ス

戰鬪中ニ在テ此ノ病院ハ結合シテ獨乙ノ陣中病院ニ齊シキ作用ヲ爲スモノトス

若シ又行務中ソ病院前進ノ命ヲ受クルキハ此ニ其一部ヲ殘置スルカ或ハ轉送ニ堪ヘ難キ患者ハ地方病院ニ委托シ他ハ背後ニ轉送スルカ或ハ共扶會社ニ囑托スヘシ退軍ノ場合ニ於ケルモ亦然リ

陣中病院ノ醫長ハ該院內ノ醫務ヲ總理シ經理事務ニ在テハ會計會議之ヲ擔任ス

（共扶會社ノ加入及ヒ作用）墺國ノ共扶會社ハ三種アリ而シテ戰時負傷者ノ救助事務ニ干與ス即チ會社ノ種類左ノ如シ

「トウトニツク」派ノ貴族會社

「マルト」派ノ貴族會社

墺國共扶會社

此會社ノ社則ハ各々異ナリ而シテ各其政府ト特別

ノ契約ヲ結ヒ以テ相互ノ權限義務ヲ制定シタルモノトス

「トウトニツク」派ノ貴族會社ハ直接ニ軍隊ノ衛生事務ヲ補助シ出戰軍ノ病舍ニ齊シキ第一線及ヒ第二線ノ病舍ヲ編綴ス

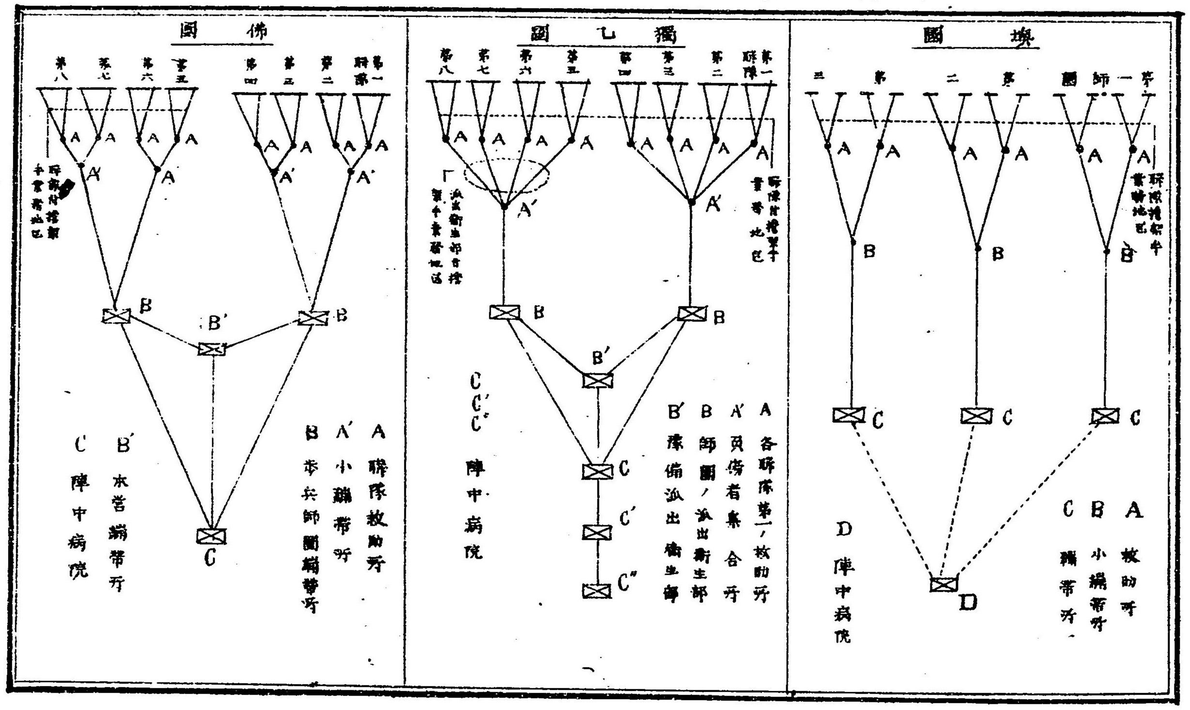
陣中衛生縱列(第一線ノ事務)

陣中病院(第二線ノ事務)

此編制ハ殆ト陸軍病舍ニ類似シ其擴張ヲ翼賛スルニ備フ

陣中衛生縱列ハ其員數四十ニシテ各縱列ニ付屬スル人馬及ヒ車輛ハ左ノ如シ

一軍團病院ノ列位及作用ノ比較表

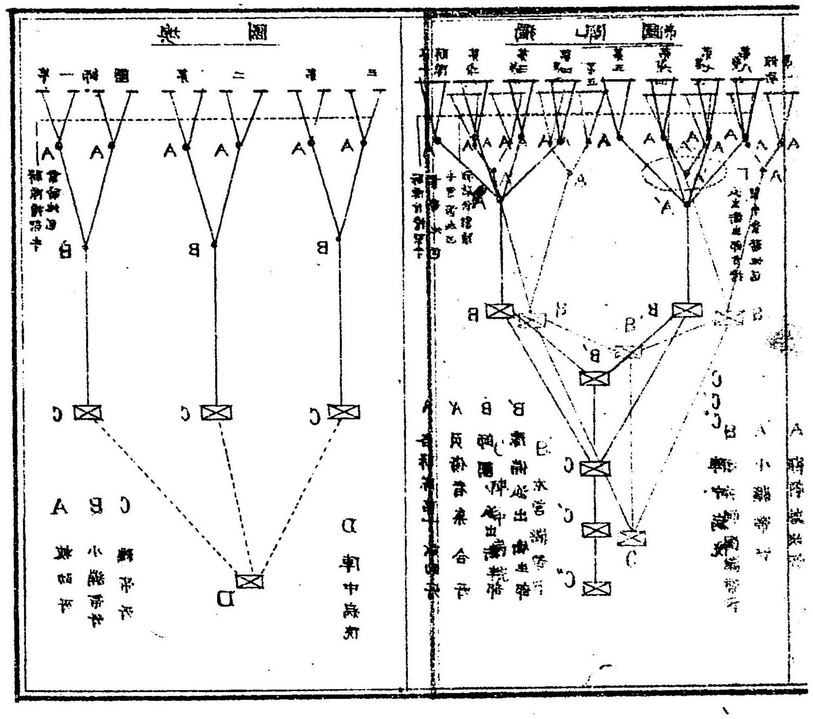


縦列指揮長　一名
馬車　五輛　｝會社ヨリ仕送ルモノトス
衛生事務及ヒ輜重ノ人員廿一名　｝動員ニ際シ陸軍ヨリ仕送ルモノトス
徴發馬車（必要ノ員數）

動員ノ準備ハ總テ出戰軍隊ニ於ケルト同一ニ之ヲ爲サヽルヘカラス

縦列指揮長ハ已ノ付屬スル陸軍病舍ノ醫長ニ服從スヘシ戰鬪ノ日ニ方リテハ繃帶所ヲ以テ縦列ノ出張所ト定ム而シテ此ノ人員ニ支給スル給與品ハ一定ノ規則ニ準シ陸軍經理部ヨリ之ヲ支辨スルモノトス

此ノ縦列ニハ醫員ヲ屬セス蓋シ該會社ニ屬スル醫



員ハ凡テ第二線ノ病舍即チ該社ノ陣中病院ニ置ク
ヲ以テ原則ト爲スニヨル
會社ノ陣中病院ハ陸軍陣中病院ト齊一ノモノニシ
テ是レ又軍ノ監督部ニ服從スルモノナリ而シテ陸
軍經理部ニ於テハ給養品ノ一部ヲ負擔シ且ツ徽發
馬匹ヲ以テ車輛ノ挽馬ニ充ツ
「マルト」派貴族會社ノ陣中行務ハ鐵道ニヨリテ負傷
者運輸ノ特別事務ヲ負擔ス故ニ戰時ニ在テ該會社
ハ一行ニ百六十名ノ患者輸送ニ足ルヘキ滊車二十
ヲ以ヲ組立ダル一列車ヲ政府ノ所用ニ供ス其他鐵
道會社ヨリ仕送ル所ノ滊車ヲ以テ患者轉送ノ爲ニ
要スル五列車ヲ準備ス而シテ人員及ヒ物具等ハ凡

テ該會社ヨリ仕送ルモノトス
墺國共扶會社ハ「トウトニツク」派貴族會社ト異ナリ
貴族ニ限ラス何人タリモ加入スルヲ許ス且ツ會社
ノ目的並作用ハ佛國共扶會社ニ異ナルコトナシ

伊太利國

戰時伊國病院事務ノ編制ニヨレハ各軍團ハ獨乙ノ
派出衞生部ニ模擬シタル三衞生部ヲ備フ是レ全ク
第一線ノ事務ニ要スル病舍ニシテ獨乙ノ如キ陣中
病院ハナシ
第二線ノ病舍トシテ墺國軍隊ノ陣中病院ノ如ク編
成シタル陣中病院ヲ有セリ而シテ此病院ハ三百人
入リトセルモ其ノ物具ニ至リテハ甚タ輕便ナラス

又病院ニハ徽發輜重ノ三ヲ附屬セシム

伊國陣中病院事務施行ハ既ニ制定セシ規則ノ未タ發表セサルニヨリ之ヲ詳說スルヿ能ハス

伊國ニ於テハ公然タル救助會社ノ編制ヲ見ス以上ノ論說ニヨレハ各國ニ於テ陣中病院ノ編制ハ殆ト類似スルモノナリ又其目的ハ每ニ戰鬪線ヨリ轉送停車場ニ夫レヨリ本國ニ至ル連絡線ヲ設備スルニアルヿ明ナリ然リト雖モ準備ノ物具ニ至リテハ各國共ニ齊一ノモノニアラサルナリ

是ノ故ニ該件ニ就キ聊カ此ニ改正スヘキ主旨ヲ示サン

（一）獨乙及ヒ墺國ニ於ケル如ク佛國ニ於テモ常ニ擔架手專務ヲ編制スヘシ

（二）第一線ノ病院事務ニ自由ノ活動ヲ與フヘシ是レ則戰鬪ノ日ニハ繃帶所補助ノ爲メニ派出シ戰鬪後モ亦之ヲ翼贊スル爲メニ在リ蓋シ假病院付屬ノ物品ヲ輕便ニシ（殊ニ寢具ヲ除クヘシ是レハ徵發法ニヨレハ何地ニ限ラス容易ニ調理スルヿヲ得）而シテ各繃帶所ニ屬スル人員ノ一部ヲ減シテ假病院ニ付屬セシムルヲ以テ足レリトス然ルニハ獨乙ノ陣中病院墺國ノ陣中病院ニ齊シキモノヲ得ヘシ而シテ一軍團ニ此ノ如キ假病院ノ二三ヲ備フルヲ以テ充分ナリトス

前舉ノ改正論ハ陸軍經理部ニ於テ戰時病院事務編制ノ研究ヲ決セシ以前ニ出テタリ而シテ其目的ハ

現今事務上ノ故障ヲ除去シ前戰役中實驗上得タル所ノ利害ヲ酌量シ外國ニ於テ該事務上既ニ改正ヲ加ヘタル件々ヲ探究スルニ在リ

時機ノ如何ニヨリ事務施行ノ詳細ハ此ニ陳述セシテ大体ノ理由ヲ左ニ講述セントス

各隊ニ於テ衛生事務ヲ更張ニシ且ツ之ヲ完全ナラシムル爲メ各大隊ニ醫官二名及ヒ繃帶品具ヲ載スル一輛ノ特別馬車ヲ付屬セシムヘシ其他尚ホ各中隊ニハ繃帶品入麻嚢ヲ背負フ所ノ中隊付看病人一名ヲ付シ而シテ擔架手四名ヲ置キ以テ一中隊ニ其一箇ヲ備フヘシ此ノ企圖ハ獨乙ノ編制ニヨルモノトス

各軍團ニハ三繃帶所ヲ備ヘ其一ヲ各歩兵師團ニ屬セシメ他ノ一ヲ本營ノ豫備トナス蓋シ此ノ繃帶所ハ各同一ノ編制ニシテ二部ニ區別スルコヲ得而シテ其ノ人員及ヒ物具ハ現今ノ編制ニ隨ツテ既ニ明示セシモノニ比照スレハ甚タ微少ナルヘシ其他尚ホ各繃帶所ニハ定則ノ輜重車及ヒ師團付聯隊擔架手ノ員數ニ齊シキ輜重中隊ニ屬スル擔架手ヲ從屬セシム

然ルトキ騎兵旅團ノ繃帶所ハ廢止スヘシ而シテ必用ノ場合ニ在テハ本團ト倶ニ軍團付繃帶所ノ内ヨリ一分隊ヲ派遣セシムヘシ

陣中運轉病院ハ軍隊ノ背後一兵站ノ距離ニ在テ軍

隊ニ付隨ス蓋シ該病院ハ軍團各之ヲ編制シ各團必ス八院以上ヲ備ヘンコトヲ要ス而シテ繃帶所負傷患者ノ充盈シタルトキハ之ヲ援ケ以テ患者ノ療養ニ間斷スルコトナカラシムル故ニ其運動一時自由ナラサルコトアルヘシト雖モ患者ヲ背後ニ轉送スルヤ直ニ出發シテ一定ノ進行列ニ達スルモノトス但シ患者二百名ノ治療ニ要スル人員物具等ヲ備フ此編制ハ獨墺兩國陣中病院ノ制ニ近似スルモノト謂フヘシ

陣中運轉病院ハ固ヨリ各軍團ニ充テ編制セシト雖モ必要ニ際スレハ獨リ其所屬ノ軍團ノミナラス他軍團ノ事務ニ從事スルコトアルヘシ然レモ此ノ補助事務ノ卒ルヤ直ナニ其本團ニ追從スルモノトス

轉送事務ハ既ニ講究セシ病院事務ニ準シテ施行スヘシ然レモ轉送繃帶所ニ於テ一ノ會議ヲ設ケ以テ患者ヲ區別シ其送致所ヲ定ムヘシ佛國共扶會社ハ停車場ノ繃帶所及ヒ背後ノ假病院或ハ永久病院ノ事務殊ニ患者ノ鐵道送致ヲ負擔ス

陣中病院ノ編制ハ以上ノ如ク完備セリト雖モ常ニ道德ヲ主トシ其事務ヲ施行セサルヲ得ス兵卒ハ官ノ注意其宜キヲ得ルトキハ益々其義心ヲ發起スルモノナリ故ニ傷痍ヲ蒙リシ軍人ハ之ヲ待スルニ最モ懇切ナル療養ヲ以テシ之ヲシテ其傷痍ノ速ニ全癒スヘキヲ知ラシムルヲ以テ肝要トス然ラハ則チ兵卒ハ益々尽忠報國ノ精神ヲ旺ニシ其身命ヲ拋チテ

奮闘スルニ至ヲン

陣中運輸事務

戰時經理事務ノ施行ハ數多ノ運搬具ヲ要セサレハ則チ之ヲシテ完全ナラシムルヿ能ハス蓋シ諸品ノ調達スルヿアレハ便ナル之ヲ倉庫ニ輸送スル又ハ戰況ニヨリ倉庫ノ物品ヲ他ニ移スヿアリ又ハ軍隊ノ需用ニ充テンカ爲メ戰地ニ之ヲ送致セサルヲ得サルヿアリ是レ則チ諸品補充ノ基礎タル第二線ノ事務ナリ各部團ニ豫備物具ヲ輸送スルハ非常ノ際諸事務中殊ニ人馬ノ糧食ヲ保固ニセン爲メ又ハ軍隊ノ通行地方ニ於テ日々ノ給養品調理シ難キ時ニ備フルニ在リ是レ則チ第一線ノ事務ナリ而シテ第一線ノ事務ハ單略上ニ妨害ヲ來スヿナク數多ノ馬車ヲ運轉使用シテ確實便宜ノ補充ヲ保固ニセンヿヲ望ムニ在リ故ニ之ヲ稱シ處物ノ方略ト云フ

陣中運輸ノ事務ハ最モ緊要ノモノト云ハサルヲ得ス「ボ―セ―ル」氏ノ云ヘル如ク運輸事務アラサルトキハ經理事務中殊ニ糧食事務ハ無キニ似タリト宜哉此言ヤ

年三年二月十六日教令ニ曰ク運輸事務ハ軍隊ノ成功又其維持ニ於ケルモ最モ必要ノモノタリ蓋シ戰端ヲ開クヘキ地方ニ軍隊並ニ必需ノ糧食、荷物及ヒ彈藥等ヲ輸送シ或ハ雜沓損害テクシテ退軍スルヿヲ得ルハ獨リ運輸ノ方略ニ據ラサルハ無シ故ニ運

輸事務ハ軍隊ノ精神ト云フヘシ何レトナレハ軍隊ノ生理且ツ其動揺ハ全ク運輸事務之ニ干與スルヲ以テナリ抑々經理官タルモノハ爰ニ着眼セスンハアルヘカラス是レ戰ノ勳功ヲ奏シ軍隊ノ名譽ヲ赫々タラシムルハ全ク運輸事務ノ良否ニヨルヲ以テナリ

運輸事務上ニ在テハ一小事項トスルト雖モ多少ノ關係ヲ有スルモノハ財務ナリトス故ニ運輸事務ノ編制其宜キヲ得ハ乃チ樞要ナル行務モ容易ク爲シ得ルモノナリ何トナレハ軍隊ハ諸品ノ欠乏ヲ患ヒサルニヨリ廉價ニテ物品ヲ調達スルヲ得ヘシ故ニ軍隊ノ需用ハ急遽ニ調理セサルモ常ニ差閊ナカラシムヲ要ス然レハ則チ物品ノ價格非常ニ騰貴スルアリト雖モ直ナニ尋常ノ價位ニ復スヘシ

陣中ニ於ケル運輸件ヲ論究スルニ當リ先ツ戰時ニ用ユヘキ運搬ノ方法如何ヲ說キ然ル後ヲ第一線或ハ第二線ノ事務ニ就キ各方法ノ使用如何ヲ講究セント欲ス

運輸諸種ノ方法

運輸ノ方法ヲ分ヲ三トス即チ

第一　航路ノ運輸

第二　鐵路ノ運輸

第三　道路ノ運輸

航路

航路ニ二アリ海洋及ヒ河川或ハ堀切トス

（海洋ノ運搬）海洋ハ強大ナル海軍ノ守衛ニヨリ自由ニ航海シ得ルヤハ頗ル至良ノ交通路ト言フヘシ人馬及ヒ物品ノ發着ナ同シ且ツ假令遼遠ノ地ト雖少日數ニテ運搬スルテ得又商船ノ補助ヲ得テ續々海洋ノ擁護頗ル堅固ナリシヲ以テ魯西亞軍隊ニ向テ同盟軍ノ爲メニ大ナル利益ヲ與ヘシコアリ然レモ此交通路ハ海上ノ航路權ヲ全掌スレハ緊用ノモノタルモ若シ其保護完全ナラサルヤハ最モ危難ナル航路ト云フヘシ

（河川及ヒ堀切）河川及ヒ堀切ハ海洋ヨリモ準備物品ノ運送ニ就テハ殊ニ一層便宜ナル交通線ト云フヘシ何トナレハ啻ニ運搬ノ費途ヲ節減スルノミナラス軍隊ニ須要ナル道路及ヒ馬車等ノ使用ヲ大ニ節減スルモノナレハナリ

普通川船ノ噸數及ヒ運搬上ノ便宜ニ關シタル統計表ノ報告ヲ左ニ示ス

通常ノ河川及ヒ堀切ニ使用スル船舶ハ左ノ二種トス即チ

幅五米突ニシテ長サ三十三乃至三十四米突幅四米突六十珊知米突ニシテ長サ二十三米突

其他「セ―ヌ」河ニ用ユル幅七米突乃至七米突五十珊知米突ニシテ三十四米突ノ長ヲ有スル石積大船ア

リ（此ノ船ハ切石運漕ニノミ用ユ）茲ニ陳述スル船ハ唯タ河川或ハ堀切ニ使用スル帆檣ナキ船ナリ

大船ハ其ノ船端ノ高低ニヨリ二百五十乃至三百噸數ヲ乘載スルヲ得（一噸ハ千基ナリ）

小船ハ百五十乃至百八十噸數ヲ乘載スルヲ得

石積船ハ六百噸ヲ乘載スルヲ得

是ニ由テ之ヲ觀ルニハ河川ニ利用スル船ハ運搬ニ最大ナル便益ヲ與フルモノトス即チ一艘ノ船ハ其大小ニヨリ十噸ヲ積メル十五、十八、二十五、三十及ヒ六十瀛車ノ噸數ヲ積載スルヲ得（荷物ヲ積ムニハ水上ヨリ船脚二三珊知米突ヲ餘スヲ以テ足レリトス）

前文ノ論理ニヨレハ假令距離短少ナルモ船舶ヲ以テ回漕シ得ルニハ河川ニヨラサルヲ得ス而シテ荷物積卸シノ不便、物品ノ延着欠損並ニ此ノ運漕ニ起因スル困難ハ顧慮スルニ足ラサルナリ

故ニ軍隊若シ船舶及ヒ舟夫ヲ有セサルニハ請負人ト條約ヲ結ヒ船舶及ヒ舟夫或ハ要用ニヨリ挽馬等（舟ヲ挽ク馬）ノ調理ヲ負擔セシムヘシ若シ肯セサレハ徴發法ヲ實施シテ之ヲ辨理スヘシ而シテ敵國ニ於ケルモ其賠償ヲ要ス然ヲサレハ舟夫等逃亡スルニヨリ縱令ヒ船舶アルモ操業者ナキニハ之ヲ使用スルヿ能ハサルナリ又其地ノ船舶ハ毎ニ不足スルヿアルヲ恐ルヿ何トナレハ何國ニ於ケルモ河川ニ使用スル船舶ハ決シテ夥多アラサルノミナラス敵兵之ヲ破却スルヿアルニ由レハナリ

河川及ヒ堀切ノ回漕ヲシテ安全ナラシメンニハ其兩岸ヲ略取スルヲ要ス然ラサレハ運輸モ眞ノ戰爭ニシテ敵軍ニ大利アルモ我軍ニハ大害アルヘシ然リ而シテ縱令ヒ大害アルモ戰況ニヨレハ河川ニ據テ回漕セサルヲ得ス既ニ往昔ノ戰役中河川ニヨリ輜重輸送ノ例數多アリ即チ「ダニーブ」「オヲン」及ヒ「ニイル」河ノ一岸ハ敵ノ占領セルモ河川ノ回漕法ヲ用井タリ而シテ輜重物品キ僅少ノ損害ヲ生セシモ多ク到達シテ其ノ目的ヲ達セリ其一例ヲ左ニ示ス

一千八百七年「ダンジユク」ノ攻圍中彈藥ヲ我兵ニ送致セサルヲ得サル「アリシニ偶ヤ霖雨ノ候ナリシニヨリ道路泥海ニシテ之ヲ陸送スルヿ能ハス乃チ「ビスチユール」河ニ賴テ之ヲ回送スルヿニ決セリ然ルニ又二障碍ノアルアリテ頗ル困難ヲ極メタリキ是レ河中ニ浮氷多ク漂フテ通船ヲ妨ケ又一島ニ連接セル「グロールダン」ノ砲臺アルニ由レリ故ニ海兵ヲシテ運送船ヲ護衛セシメ其一部ハ浮氷ヲ排拂シ一部ハ帆掛ヲ運用シ而シテ砲臺放射ノ敵彈ヲ避ケンカ爲メ夜間ヲ以テ進行セリ此ノ際水夫等ハ船底ニ潛伏シテ僅カニ彈丸ヲ免レ唯揖ヲ操ルノ業ノミニ從事シ稍ヤ彈丸ノ達セサル距離ニ到テ始メテ他ノ運用ニ就ケリ

以上ヲ約言スレハ糧食ノ欠乏ニ苦ムヨリハ寧ロ其損害ヲ顧ミス之ヲ運搬セサルヲ得ス

鐵路

鐵路運輸ノ件並其編制ハ陣中鐵道ノ人員ト補充線ノ篇ニ於テ既ニ之ヲ詳細論了セシヲ以テ敢テ復言セス今茲ニ於テハ唯運輸ニ要スル鐵道物具ノ書シキ功力、瀕車ノ乘載及ヒ運搬スヘキ諸種物品ノ量目等ヲ明示セントス

（鐵道運輸功力上ノ教示）各鐵道會社ニ於テ用ユル荷物瀕車ハ其ノ用法製作及ヒ傾覆ニヨリ各差異アリ故ニ之ヲ類聚大別シテ各別ノ名稱ヲ付ス今其種類ヲ擧レハ即チ左ノ如シ

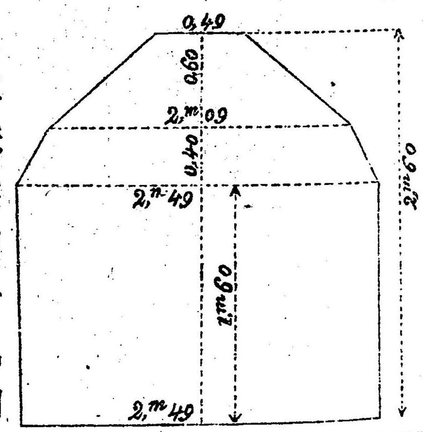
甲　轅ノミノ瀕車

乙　轄瀕車

丙　轅ニ側ヲ付ケタル瀕車

鐵道會社ニ於テ適用スル荷積ノ模形ハ乙瀕車ニ於ケル如ク瀕車自ラニヨリ積荷ノ形體及ヒ高サノ定マラサルヤ之ヲ確定スル器具ナリ

前圖ノ模形ニヨレハ瀕車ノ積荷ハ二米突四十九珊知米突ノ幅ニヨリ一米突六十珊知米突ノ高サニ至ルヲ得ヘシ而シテ積荷ノ上部ニ至レハ漸次左ノ比例ニヨリ之ヲ傾斜ニスヘシ即チ二米突ノ高サニハ二米突九珊知米突ノ幅ヨリ多カラス又二米突六珊知米突ノ高サニハ四十九珊知米突ノ幅ヨ



リ多カラス

左ノ條件ヲ確定スル爲メ前ニ揭ケタル諸種ノ瀧車ニ就キ試驗ヲ爲セリ

第一　一瀧車ニ乘載スヘキ物品、薪炭及ヒ獸類ノ分量

第二　適良ノ積法並ニ品種ニヨリ特別ノ注意

第三　荷物積卸ニ要スル時間

第四　必要職工ノ員數

此ノ試驗ニヨレハ確實ノ算當ヲ以テ諸種ノ瀧車ニ乘載シ得ヘキ荷物ノ量目ヲ算定シ又ハ之ニ反シ定數ノ物品アルキハ其運輸ニ要スル瀧車ノ員數ヲ定ムルコヲ得ヘシ

此ノ試驗ノ結果ヲ左ニ示ス

（瀧車ノ容積及ヒ噸數）各瀧車ノ表面ニ積荷量目最上限ノ噸數ヲ揭出ス然レトモ各會社ニ於テ此ノ定量ヨリ一百ニ就キ三乃至四ノ過量ヲ積ムコヲ承諾スルモノナリ

甲瀧車或ハ乙瀧車ヲ使用スルトキハ其ノ物品ニヨリ最上限ノ量目ヲ積ミ或ハ之ヨリ過積スルヲ得ルハ試驗上ノ實蹟ニヨリ判然セリ其物品ハ大麥、生茄葺、麥粉、干菜、米、鹽、鑵肉、烏麥、飲料（小樽）及ヒ空囊等ナリ之ニ反シ容積多量ヲ占有スル蒸餅、乾蒸餅、茄葺、飲料、（大樽）秣、藁、薪柴等ニ於ケル瀧車ノ載量ハ物品ノ形体ニヨリ差異アリ丙瀧車ニ於テハ側ノ高サニ隨ヒ載積ス

ルノ原則ニシテ多クハ石炭運輸ノ爲メニ製作シタルモノナレハ其積量ハ常ニ定メタル噸數ヨリハ少許ナルモノトス左ニ積載ノ量目ヲ擧示ス

第一糧食														
物品ノ種類		積載スヘキ物品ノ量目												
		十噸積甲號車		同上乙號車		同上丙號車		蒸餅						
								箇數		二十箇入嚢		半乾蒸餅		
												箇數		廿箇入嚢
		口量	量目	口量	量目	口量	量目	口量	量目	口量	量目	口量	量目	口量	量目
小麥	八十基入ノ嚢	壹萬	壹基	壹萬	壹基	壹萬	壹基	○	○	五千	四千七百六十五基五百貝	○	○	五千二百	三千六百四十基
	百基入ノ嚢	壹萬	壹基	壹萬	壹基	壹萬	壹基			二百	三千二百一基四百五十貝				
麥粉	八十基入ノ嚢	壹萬	壹萬基	壹萬	壹萬基	壹萬	壹萬基	六千三百五十四	四千二百六十七	一千	四千八百十六基	六千八百八十	四千六百	五千五百	三千八百五十基
	百基入ノ嚢	壹萬	壹基	壹萬	壹基	壹萬	壹基								

乾蒸餅		
	口量	量目
	九千六百八十五	六千百五十基
	九千七百六十四	六千二百基
	三千九百基	四千六百五十基

米	八十基入ノ嚢	壹萬基
	百基入ノ嚢	壹萬基
		壹萬基
干菜	八十基入ノ嚢	壹萬基
	百基入ノ嚢	壹萬基
		壹萬基
塩	八十基入ノ嚢	壹萬基
	百基入ノ嚢	壹萬基
		壹萬基
棒砂糖	箇數	〇
	八十三基入ノ函	八千六百三十二基
	四百基入ノ樽	八千八百基
	七十基入ノ嚢	〇
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千五百六十基
		九千九百四十基
		八千四百基

生		壹萬基
煎菲炎リテ粉コシタル分	四十九基入ノ函	六千二十七基
	四十基入ノ嚢	八千基
	五十八基入ノ函	七千百三十四基
	五十基入ノ嚢	八千七百五十基
		八千二百五十基
		八千五百八十七基
		六千七十六基
		五千三百九十四基
		五千四百基
		八千五百基
		六千八十基
		六千基
		五千百八十七基
		五千三百九十四基
		五千四百基
		九千五百基
		六千八十基
		六千基
飲料	五十リットル入ノ小樽	〇
	二百二十五リットル入ノ樽	六千七百五十リットル
	五百リットル入ノ大樽	六千リットル
		七千七百六十五リットル
		七千七百五十リットル
		七千六百五十リットル
		七千七百五十リットル
		六千五百リットル
平均三百基ノ生牛	員數	〇
		八乃至十頭
		八頭
	量目	〇
		二千七百基
		二千四百基

第二秣蒭	豚鹽肉		鹹肉		平均三十基不剪毛ノ生羊		平均二十五基剪毛ノ生羊		秣草		蕎麥 五基ノ束		大麥	
	百基入ノ樽	九十基入ノ樽	四十五基入ノ樽	二基入ノ函	一基入ノ函	員數	量目	員數	量目	七十五基ノ壓束	五基ノ束 員數	量目	員數	量目
	六千五百基	六千五百七十基	○	七千二百九十六基	六千九百二十基	○	○	○	○	五千三百二十五基	五十	二千七百五十基	五	二千五百基
	六千五百基	六千五百二十五基	六千三百四十五基	七千二百基	六千八百六十四基	二千百基	千九百二十五基	七十頭	六十五頭	三千七百五十基	○	○	百	○
	五千九百基	五千九百四十基	五千六十二基五百貝	七千二百基	六千八百十六基	二千百基	千九百五十基	七十頭	六十五頭	三千二百八十基	○	○	百	○

	第三薪炭								
大薪	堅質木（四百基ノ一米突立方積ニ入ルヲ「ステール」）	量	目	七千二百基	八	十	七		
	柔質ノ木（三百基ノ一「ステール」）	量	目	五千四百基	八	十	七		
三十小薪	基	個數		百四十基	十	九十一	七十六		
		量	目	四千二百基	九十一	九十一	七十六		
石炭				○		○	壹萬基		
第四薪類									
百藁束	束數			九十一					

藁	ノ束	量	目	壹萬百九十二基	壹萬百九十二基	八千五百十二基	
	四十五藁ノ束	束	數	二百五十	二百五十	百七十	
		量	目	壹萬百四十四基五百貝	壹萬百四十七基五百貝	八千四百十五基	

（瀝車ノ撰用及ヒ荷積ノ注意）秣草薪柴ハ甲瀝車ニ上載スルヲ可トス他ノ物品ハ可成的乙瀝車ニ積ムヲ要ス然リト雖瀝車ノ員數寡少ナルヤハ濕氣ノ爲メニ損傷シ易キ物品ハ就中乙瀝車ニ上載スヘシ則チ撰載スヘキ物品ノ順次ハ蒸餅、乾蒸餅、砂糖、茄菲、麥粉、鹽、米、鑵肉及ヒ飲料等ナリ

物品ノ荷積ニ要スル注意ヲ左ニ解說セントス

錢道ヲ以テ運輸スヘキ蒸餅及ヒ半乾蒸餅ハ其製法

（焼方ニ最モ注意スヘシ）ヲ善クシ而シテ十分ニ乾燥スヘシ此ノ故ニ製造後二十四時間ヲ經過セサレハ瀘車ニ上載ス可カラス若シ止ムヲ得ス此時間前ニ輸送スルヰハ乙瀘車ニ數重ノ棚ヲ架シ此ニ蒸餅ヲ排列シ窓戸ヲ開キ空氣ノ流通ヲ善クシテ乾燥方ヲ怠ルヘカラス

獣類ハ其上載具ノ準備セル停車場ニ限リ之ヲ載積スヘシ獣類ノ運輸ニハ四瀘車ニ一名ノ比例ニヨリ獣丁ヲ付ス

獣丁ハ必ス繋綱ヲ携フモノトス而シテ途中ニ於テ獣類ニ注意シテ敢テ之ヲ忽慢ニスヘカラス之ヲ乘卸スルノ寸ハ其助手タルヘシ而シテ其乘車三十六時間以内ニシテ暑中ニアラサルヰハ秣草及ヒ飲水ヲ與フルニ及ハス若シ此時間外ニ出ルヰハ則チ之ヲ適宜ノ停車場ニ卸シ之ニ秣飲スヘシ但シ炎暑ノ候ハ毎二十四時間之ニ飲フヘシ

藁秣ノ堆積ハ之ヲ數層ト爲シ其上部ハ一層毎ニ其幅ヲ減シ荷繩ヲ以テ之ヲ肅縛シテ散失等ノ患ナカラシムヘシ

荷物中ニ各種アルヰハ最大重量ノ品種ヲ下積ニスヘシ

甲丙瀘車ノ積荷ニハ上覆ノ裝置ニ注意ヲ要スヘシ函或ハ嚢包ハ山形ノ如クニ積載シテ上覆ニ妨礙ナカラシムヘシ其裝置宜キヲ得サレハ物品ニ意外ノ損害ヲ釀生スルヲ以テ最モ戒愼ヲ加フヘシ

（荷物積卸ニ要スル職工ノ員數並ニ其時間）平時鐵車ノ積卸シハ一般ノ運輸規則ニ準的シ鐵道會社ノ常置人員ニ由テ執行スルモノトス而シテ會社ハ運輸時期ニ臨ミ適宜ニ停車場ニ現在スル諸種ノ鐵車ヲ使用スルヲ以テ特ニ詳細ノ命令ヲ要セス唯タ荷物ノ品種及ヒ其噸數ヲ通知スルノミニシテ足レリ

トス又戰時策源以內ノ運輸ニ於ケルモ亦然リ但シ其運輸ヲシテ神速ナラシメンカ爲メ臨時職工ヲ貸與スルコアリ

策源以外ニ在テハ反テ居常內地ニ適用セサル事項ヲ以テ規則トナス即チ運輸員擔鐵道會社ノ技術分隊職工ハ荷物積卸シノ爲メ屢々陸軍職工或ハ徵募人夫ノ補助ヲ受クルモノトス

故ニ鐵車ノ積卸シニ要スル人員及ヒ其時間ヲ詳明ニスルヲ以テ緊要ト爲ス

停車場ニ物品ヲ運輸セル馬車ハ鐵車ノ傍ニ駢列スルト想像スルヲ會社ノ職工ヲシテ其荷物積卸シノ業務ニ役スレハ四人乃至五人ヲ以テ足ルモノヽ如シ然レ𪜈若シ陸軍職工或ハ市中ノ徵募人夫ヲ使役スルヲ以テ八名ノ人員ヲ要スヘシ將タ才能アル職工長ヲシテ業務ヲ指揮セシムルヲ以テ六名許ニ減少スルヲ得ヘシ但職工ヲ役スルニハ各自ノ職業ニ適應ノ業ヲ取扱ハシムヘシ設令ヘハ飲料ヲ積ムニハ樽職ヲ用

ヒ獣類ヲ載スルニハ獣丁ヲ用ユルカ如シ

荷物積卸シノ時間ハ物品ノ種類ト其積卸シニ要スル注意トニヨリ一定ナラス是ノ故ニ試驗上ニ於テ得タル成蹟ヲ擧ケテ左表ニ示ス

物品ノ種類		十噸積瀧車	時間	荷積	荷卸
糧食					
蒸餅	個數	同上乙瀧車	同上	同上	同上
	四十口量入嚢				
半乾蒸餅	個數	同上丙瀧車	同上	同上	同上
	四十口量入嚢				
麥、麥粉、燻米、干菜、生茄菲	百基入ノ嚢				
	八十基入ノ嚢				
函入乾蒸餅	個數				
棒砂糖	函				
	樽				
炙茄菲	函				
	嚢				

物品ノ種類		十噸積瀧車	時間	荷積	荷卸
糧食					
蒸餅	個數	○	同上	同上	同上
	四十口量入嚢	四十分三十五分			
半乾蒸餅	個數	○	同上	同上	同上
	四十口量入嚢	四十分三十九分			
麥、麥粉、燻米、干菜、生茄菲	百基入ノ嚢	二十六分二十分			
	八十基入ノ嚢	二十二分二十五分			
函入乾蒸餅	個數	○	一時五十三分	一時三十九分	一時二十二分
			一時三十分	一時二十分	一時十七分
棒砂糖	函	○	一時三十分	一時二十分	一時十分
	樽	五十五分五十分	一時三十分	一時二十分	一時十分
炙茄菲	函	五十分五十分	一時三十分	一時二十分	一時十分
	嚢	四十八分四十五分	一時三十分	一時二十分	一時十分

物品ノ種類		十噸積瀧車	時間	荷積	荷卸
糧食					
蒸餅	個數	○	同上	同上	同上
	四十口量入嚢	四十五分四十分			
半乾蒸餅	個數	○	同上	同上	同上
	四十口量入嚢	四十五分四十分			
麥、麥粉、燻米、干菜、生茄菲	百基入ノ嚢	二十分二十分			
	八十基入ノ嚢	二十五分二十五分			
函入乾蒸餅	個數	○	一時四十三分	一時三十分	一時十五分
			一時四十三分	一時三十分	一時十五分
棒砂糖	函	○	一時四十三分	一時三十分	一時十五分
	樽	五十分五十分	一時四十三分	一時三十分	一時十五分
炙茄菲	函	五十分五十分	一時四十三分	一時三十分	一時十五分
	嚢	四十五分四十分	一時四十三分	一時三十分	一時十五分

物品ノ種類		十噸積瀧車	時間	荷積	荷卸
糧食					
蒸餅	個數	○	同上	同上	同上
	四十口量入嚢	四十五分四十分			
半乾蒸餅	個數	○	同上	同上	同上
	四十口量入嚢	四十五分四十分			
麥、麥粉、燻米、干菜、生茄菲	百基入ノ嚢	二十分二十分			
	八十基入ノ嚢	二十五分二十五分			
函入乾蒸餅	個數	○	一時四十三分	一時三十分	一時十五分
			一時四十三分	一時三十分	一時十五分
棒砂糖	函	○	一時四十三分	一時三十分	一時十五分
	樽	五十分五十分	一時四十三分	一時三十分	一時十五分
炙茄菲	函	五十分五十分	一時四十三分	一時三十分	一時十五分
	嚢	四十五分四十分	一時四十三分	一時三十分	一時十五分

粉	函	五十三分	五十分	四十五分	四十分
	嚢	四十八分	四十二分	四十分	三十五分
飲料	五十「リートル」入樽	○	○	四十分	三十三分
	二百廿五「リートル」入樽	三十分	三十分	三十分	三十分
	五百「リートル」入樽	四十五分	四十五分	四十分	四十分
牛		○	○	○	○
羊	不剪毛	○	○	○	○
	剪毛	○	○	○	○
一基或ハ二基入鑵肉		五十五分	四十五分	四十分	三十五分
	四十五「リイトル」入樽	○	○	○	○

豚攪肉	九十「リイトル」入樽	四十分	三十五分	三十分	二十五分
	百「リイトル」入樽	三十五分	三十分	二十五分	二十分
秣	藁				
秣草	壓束	五十分	四十分	三十分	二十分
	五基束	一時	五十分	四十分	三十分
藥五基束		一時十分	五十五分	四十五分	三十五分
烏麥	七十基入ノ嚢	四十二分	三十五分	二十八分	二十分
	六十基入ノ嚢	四十六分	四十分	三十四分	二十八分
大麥	八十基入ノ嚢	二十二分	三十五分	二十八分	二十分
大麥粉	同 上	二十二分	二十五分	二十分	一十五分

挽割麥	四十基入ノ嚢	四十八分	四十五分	五十分	四十五分	四十五分	四十五分	四十五分	四十五分	四十分
薪炭										
大薪	堅	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分
	柔	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分	一時二十分
柴薪	三十基束	四十五分	四十五分	四十五分	四十五分	四十五分	四十五分	四十五分	四十五分	四十五分
石炭		○	○	○	○	○	○	○	○	○

前表ノ時間ハ十噸積ノ瀛車ニ就テ算當セシモノナリ各會社ハ前條ノ三種瀛車中ニ五、六、八、十二、十五乃至二十噸ヲ積載シ得ヘキモノヲ有スルト雖モ各種瀛車ト其容積等ノ比例ニヨレハ容易ク其時間ヲ算

當スルヲ得

道路

馬車ヲ以テ準備品ヲ運輸スルハ他ノ方便ニヨレル運輸ノ補助タルヘシ

凡ソ戰時ノ需用ヲ滿足スル爲メ豫テ充分ナル輜重車ヲ準備スルハ最モ難シトス蓋シ平時經費ニ定額アルヲ以テナリ然リ而シテ平時ニ不要ナル夥多ノ車輛ヲ準備スルハ其保存等ニ於テ費用ヲ要スルヿ少ナラサルモ其利益ハ甚タ微少ナルヘシ何トナレハ戰時ニ方リ軍資乏シケレハ定則ノ輜重ヲ補充スル爲メ人民ノ財產ヲ徵聚シ以テ補助輜重ヲ編成スルヲ得ヘケレハナリ

又一歩ヲ進メ審考スルキハ唯ニ地方ノ財源ノミヲ算當スルハ得策ニアラス戰鬪ノ幸運ハ其有無ニ關ハルモノナリ「ボー―セル」氏注意ノ如ク定則輜重ノミヲ用井テ運搬ヲ爲サヽルヲ得サル場合ナキニアラス又定則輜重ヲ備フルヿ饒多ナルキハ運輸ノ件ノミナラス物品ノ價格ニモ影響ヲ及ホスヘシ是レ賣買上ノ常況トス故ニ至急ノ需用ヲ要セサルキハ廉價ヲ以テ需用品ヲ購求シ得ヘキハ論ヲ竢タサルナリ

故ニ出戰軍隊ニハ必ヲス二種ノ輜重ヲ備ヘサルヲ得ス定則輜重補助輜重是レナリ

（第一）定則輜重ハ軍隊ノ一部分ニ居ルモノナリ而シテ動員ノ命アルヤ直チニ出發スルノ準備莫カルヘカラス其勤務タルヤ戰況ノ困難增加スルニ隨ヒ其必要ナルヿ益ヽ明ナリ

（第二）補助輜重ハ戰鬪地方ニ於テ徵聚シタル車馬ヲ以テ編成スト雖シテ其業務ハ定則輜重ノ不足ヲ補助スルニ在リ

此二種輜重ノ編成ト其業務トヲ講究センニハ一千八百六十七年一月十五日ノ規則ニ據ヲサルヘカラス蓋シ該規則ノ數條ハ既ニ徵發法憲軍隊編成法憲ヲ以テ廢止ニ歸スルト雖モ猶ホ適用スヘキ條欵ヲ存スルアリ故ニ今之ヲ講明セサルヲ得ス

此規則ニヨレハ一軍ノ輜重（定則及ヒ補助輜重）ハ砲工兵ニ屬ス

ル輜重ヲ除キ事務ノ施行上凡ヲ其會計部長ノ統理ニ屬シテ部長ノ許ニハ監督部役員一名ヲ置キ運輸事務長トナシ部長ノ命令ヲ奉シ以テ該事務ヲ指揮統理セシム

軍團或ハ師團ニ在テハ其監督長並ニ副監督ハ各自擔任事務ノ指揮監査ヲ司ル背後ノ事務ニ屬スル監督部役員ニ於ケルモ亦然リトス而シテ該役員ハ屢ヤ定則並ニ補助輜重ヲ檢査シ馬具車輛ノ保存及ヒ馬匹等ニモ注意ヲ及ホスヘシ

（定則輜重）定則輜重トハ輜重砲工三兵ノ輜重ヲ總稱セルナリ而シテ此各種輜重兵ハ殊別ノ勤務ヲ奉シ各其長官ノ指揮ニ從フト雖モ運搬上ニ關シテハ互ニ補助スヘキモノトス是レ特別ノ命令ニヨリ本務外互ニ從事スヘキ助務ノ性質及ヒ其時間ヲ指定スルハ指揮官ノ任トス而シテ其時間ノ經過スルヲアルモ必要ト思惟スルトキハ再ヒ命令シテ猶ホ之ニ服セシムヘシ然レ𪜈屢々本務外ノ勤務ニ從事セシメサルヲ以テ可トス

前文論旨ニヨリ茲ニ說明スヘキハ普通輜重隊ノミナリ

軍隊編制法憲ニヨリ輜重隊ノ員數ヲ確定シ以テ各軍團（佛國ニハ十九軍團アリ）ニハ輜重兵一大隊ヲ備ヒ番號ハ其所屬ノ軍團ト同フシテ其第二十大隊ハ巴里陸軍都督府ニ充ツ

平時輜重兵各大隊ハ第一第三第五ノ三中隊ノ編制ニシテ動員ノ期ニ際スレハ之ヲ分離シ以テ六中隊トナシ尚ホ該隊本部一分隊ヲ編成ス其第一中隊ハ繃帶所、會計輜重、金庫及ヒ郵便ノ諸馬車ヲ牽挽セシメ爲メ歩兵第一師團ニ屬シ其第三中隊ハ歩兵第二師團ニ屬シ第二第四中隊ハ軍團ノ本營ニ屬シ其第二中隊ハ繃帶所並ニ會計輜重ノ第一第二分列ニ屬シ其第四中隊ハ會計輜重ノ第三第四分列並ニ騎兵旅團ノ繃帶所、金庫及ヒ郵便電信事務ニ屬シ其第五中隊ハ輕中隊（コンパーニー レゼル）ニ編成シテ自ヲ軍團ノ四繃帶所ニ充テタル「カコレ―ル」（リナユ―ル）及ヒ其他ノ馱馬ヲ致シ其第六中隊ハ軍ノ大本營及ヒ獨立騎兵師團等ノ所用ニ供ス

軍團ノ輜重隊ハ該大隊長ノ權下ニ屬スルモ事務ノ施行ニ關シテハ必ラス軍團會計部長ノ命ヲ奉スヘシ

各師團若クハ各營ノ輜重隊中最上等ナル士官ハ其師團或ハ各營ノ輜重兵ヲ指揮ス但シ事務ノ施行上ニ就テハ副監督ノ命ヲ奉スヘシ

（補助輜重）補助輜重ハ定則輜重ノ不足ヲ補フモノニシテ軍ノ會計部長司令官ノ許可ヲ得テ之ヲ編成ス

補助輜重編成ニ適用スヘキ二方法アリ

請負

徵聚

一千八百六十七年一月十五日ノ規則ニヨリテ省費ノ方法ト唱ヘタル他ノ一法ヲ活用シタルモノアリ請負ノ法ニヨレハ請負人ハ締約ノ上定數ノ馬匹車輛夫長ヲ付シタル數者等ヲ致シ而シテ軍團及ヒ師團ノ直接事務或ハ背後ノ事務ニモ亦之ヲ充備ス該輜重ヲ軍團事務ニ使用スルハ甚タ稀レナルヘシ何トナレハ出戰軍團ハ既ニ定則輜重及ヒ運輸物具ヲ携行スレハナリ然リト雖モ若シ定則輜重不充分ナルカ或ハ其破壞ニ遇ヒ或ハ其必用ニ際シ到着セサル等ノ場合アルヘキヲ以テ動員ニ臨ミ預メ補助輜重ヲ編成セサルヲ得ス

軍團及ヒ師團ノ直接事務中ニ請負輜重ヲ付屬スルヤハ輜重隊士官ヲシテ其命令ヲ通報シ其事務施行ノ保固ヲ負擔シ並セテ其監査ヲ司ラシムヘシ而シテ輜重車ノ配置順序軍紀ノ維持車馬ノ保存ニ注意セシムヘシ又各夫長ハ配下ノ馭者ニ支給品及ヒ賃價ノ交付正確ナル歟否ヲ檢督シ而シテ其事務施行上ノ報告ハ監督部役員ニ呈スヘシ蓋シ該役員ハ事機ニヨリ夫長並ニ馭者ニ罰金ヲ科シ或ハ之ヲ放逐スル等ノ權ヲ有ス

請負輜重ヲ監査スル士官ハ名簿ヲ作リ夫長、馭者ノ姓名車馬並ニ其變換等ヲ記入スヘシ又運輸日記ヲ具有シ輜重ノ使用並ニ其所在ヲシテ明瞭ナラシメンカ

爲メ詳細ニ命令及ヒ其執行ヲ登錄スヘシ

糧食及ヒ秣蒭ハ監査士官ノ撿印アル夫長ノ傳票ニ準リ陸軍ヨリ之ヲ支給ス

請負輜重若シ軍隊直接ノ事務ニ屬セサルトキハ之ヲ車廠ニ編成シ之ニ附スルニ乘馬士官(中少尉)ノ指揮下ニアル陸軍定員ヲ以テス然レトモ軍人若シ不足スルトキハ請負人ヲシテ縱列ノ指揮ヲ掌ラシム而シテ此場合ニ際シ之ヲシテ名簿及ヒ運輸日記ノ登錄ヲ負擔セシムヘシ

請負ノ方法ハ內地或ハ同盟國ニ於テ人民舉テ其荷擔ヲ望ムトキハ其最便ノ法タルヿ明カナリ然リト雖モ若シ其地方ニ於テ諸具不足スルカ或ハ敵地ニ屯在スルトキハ之ヲ適用シ難キヿアルヘシ然ルトキハ徵發法ニ賴リテ之ヲ辨理スルノ他方策ナカルヘシ

徵發輜重ハ內地ノ物具或ハ敵國ニテ徵聚セル馬車ヲ以テ編成スルモノトス內地ニ於テハ一千八百七十七年七月三日ノ法憲ニ據テ定メタル方法ニ準據シ賠償金ヲ付與スヘシ

敵國ニ於ケル徵發ハ戰鬪公法ノ實施ニ係ルモノナルヲ以テ其賠償ノ有無並ニ金額ヲ定ムルハ指揮官ノ任トス但シ地方官ニ下付スル徵發書中ニハ詳細ニ賠償ノ有無等ヲ登記ス

馬車ノ徵發ハ地方商業或ハ耕作上ニ障碍ヲ來サヽルヲ爲メ之ヲ徵用スルノ期ヲ短縮スルヲ以テ原則ト

ス若シ其使用永期ニ渉ルヤハ一千八百七十七年法憲ノ旨趣ニ基キ寧ロ之ヲ買辨スルヲ以テ可トス又動員ノ始メニ當リ會計輜重ノ補欠ニ用ユル馬車モ亦此方法ニ據テ調達スヘシ

馬車徴聚ノ件ニ就テハ「オヂエー」氏ト意見ヲ同フス即チ八日乃至十五日間使役スル徴發馬車ハ日々ノ徴發馬車ヨリハ寧ロ之ヲ撰用スヘシ何トナレハ日々輜重變換ノ煩勞アリト雖モ住民及ヒ軍隊ニ在リテハ其利益甚タ少ナルヘシ八日乃至十五日間徴用スル輜重ハ功力多ク其賃銀廉ニシテ住民ノ勞力ヲ省減スヘケレハナリ然レモ既ニ使役ノ期日ヲ畢リタルヤハ如何ノ計畫ヲ以テスルモ續テ之ヲ使役セサランコトヲ要ス是レ住民ニ信用ヲ得ルノ方畧ニシテ速ニ徴發ノ命令ヲ奉セレムルヲ得ヘシ此理ニ基キ敵地ニ於ケルモ賠償ナキ徴發ヨリハ賠償アルモノヲ撰用スヘシ

徴發輜重モ亦請負輜重ノ如ク可成的縦列ニ編成シ名簿携行士官ヲシテ之ヲ指揮セシムヘシ而シテ人馬ノ食物ハ陸軍ヨリ支給スルモ徴聚地方ノ近傍ニ於テ人馬ヲ使役スルヤハ駄者ヲシテ其食物ヲ負擔セシムヘシ但シ其代價ハ賠償金額中ニ加算ス

外國ニ於テ徴發馬車ノ賠償ヲ爲スヤハ馬車ノ交換毎ニ軍吏或ハ其他（此仕拂ニ要スル金額ヲ携フルモノ）ノ者ヲシテ其支出ヲ司ラシムヘシ此支出ハ縦列指揮官調製ノ計算書ニ準リ

該官ノ目前ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ其支拂ニ當リ注意スヘキ一事アリ則チ運輸業務ノ計算ハ駄者ニ與フヘキ傭錢ト馬車ノ所有者ニ與フヘキ損料トヲ區別シ駄者ニハ唯其傭錢ヲ拂ヒ馬車ノ損料ハ軍隊ノ金庫ヨリ支出スヘキ証券ヲ交付ス然ヲサレハ駄者不正ヲ行ヒ其所有者ニ損料ヲ與ヘサルコトアルヘシ

補助輸重編成ニ用井タル一法アリ是レ墨其西戰役中重モニ活用シタル所ノモノナリ

此方法ニヨレハ馬匹、馬具、馬車ヲ購求シ奪略地ニ於テ駄者及ヒ通辨ヲ召集シ其給金並ニ支給物等ヲ定ムルハ司令官ノ布達ニ基ツク而シテ此ノ人員、物具ヲ以テ補助中隊ヲ編成シ陸軍ノ定員ヲ付シ各隊ノ如ク會計ヲ經理セシムルモノトス

此方法ハ甚タシキ困難ヲ生スルコアリ何トナレハ夥多ノ馬匹及ヒ物具ノ購求ヲ要スルノミナラス召集ノ駄者ヲ隊中ニ使役スルハ實ニ危殆ナルコトアリ故ニ可成的此方法ヲ用井サルヲ要ス

（積荷ノ定量）定量物品ノ運輸ニ要スル車輛及ヒ駄馬ノ員數ハ其車馬ニ負載シ得ヘキ量目並ニ通路ノ坦險ニヨリテ差異アルコト明カナリ故ニ定則及ヒ徽發馬車ニ上載シ得ヘキ量目ト或ル國ニ於テ駄馬負載ノ異ナル量目ニ三ヲ了解スルヲ以テ最モ有益トス

（驟、馬ノ運輸）驟、馬ニハ鞍、鎖、締網、雨覆等ノ付屬品ヲ

携帯セシムヘシ

凡ソ荷物ヲ騾馬等ニ負駄センニハ其脊ノ兩端ニ同種同量ノ行李一個ヲ平載スルヲ以テ例トス然レ𪜈嚢入ノ物品ハ脊ノ上ニ重積負駄スルヿアリ樽ハ其栓口ヲ上邊ニ向ケ嚢ハ其口ヲ前方ニ向ケ少シク上邊ニ傾斜スヘシ但シ總テ荷物ハ後方ヨリ前方ヲ少シク高クシ鞍頭ニ堅束スヘシ

一騾ニ負ハシムル重量ハ物品、鞍具馬奴ノ糧食被服並ニ騾糧ヲモ合計シテ二百基トス決シテ此量ヲ超過スヘカラス故ニ付屬品ノ多寡ニ應シ荷物ノ量目ハ百二十乃至百五十基トス而シテ荷物積卸シノ時ハ馬奴ヲ加算シ三名乃至四名ノ人夫ヲ要ス

（馬車ノ運輸）陸軍現今使用ノ馬車ハ其種類二輪車四輪車トス

聯隊輜重ニ充ツル二輪車ハ數種アリ一千八百七十四年製一千八百七十七年製一千八百六十年製（此ノ製ハ歩騎兵兩聯隊馬車ニ類別ス）トス

一千八百六十年製ノ歩兵聯隊馬車ヲ除キ二輪馬車ノ積量ハ凡テ四百五十乃至五百基ヲ以テ最上限トス決シテ此量ヲ超過スヘカラス而シテ歩兵聯隊馬車ハ稍ヤ小ニシテ其積量三百六十基乃至四百基トス此ノ量モ亦超過スヘカラス

四輪馬車ハ數種アリ左ノ如シ

甲　馬車（シャリオー・ドバルン）

乙　馬車（シヤリオードア、ガレー）　最下限　千二百基
丙　馬車（シヤリオードア、ガレー、シエスペンション）　千　基
丁　馬車（フールゴン）　千二百基
戊　馬車（フークシエール）　千　基

此諸種馬車ニ上載スヘキ定則ノ量目ハ左ノ如シ

（第一表）

	最上限	最下限
甲（乙）馬車	千	八百基
丙　馬車	八	七百基
丁　馬車	七	百基
戊　馬車	千二百基	千三百基

然レ𪜈道路平坦ニシテ挽馬ノ數モ亦增加スルヲ得ヘシ然レ𪜈決シテ左ノ量目ヲ隨テ積量ヲ增加シ得ヘキ定則ノ量目ハ左ノ如シ

（第二表）

甲	馬車	千五百基
丙	馬車	千二百基
丁	馬車	九百基
戊	馬車	千四百基

徽發馬車ハ其耐力强弱、形体、大小等ニヨリ積量ニ異同アルヘキモ丁馬車ニ齊シク平均八百乃至九百基ノ量目ヲ積載スルヲ得ヘシ若シ四輛車ニシテ二匹以上ノ挽馬ヲ駕スル𪜈ハ一千乃至一千五百基ヲ載スヘシ

第一表ノ量目ニ基キ諸種物品積量上ニ就キ二三ノ指教ヲ後文ニ揭クヘシ若シ過積ヲ許スモ第二表ノ

量目ニ過クヘカラス而シテ二匹以上ノ挽馬ヲ駕シタル四輪車ニシテ平坦ナル道路ヲ通過スル[illegible]ノミニ限ルヘシ但シ諸種ノ馬車ニ負載スル量目ハ監督部役員輜重隊長ト商議ヲ遂ケ以テ之ヲ定ムヘシ

荷積ノ前ニ當リ其荷作ノ良否ヲ檢査シ殊ニ嚢包ハ綻裂等ナキヤ否ニ注意シ行李ハ其大小形体及ヒ馬車ノ容積ニ隨ヒ縦横ニ上載シ樽類ハ栓口ヲ上邊ニ向ケ蒸餅ハ馬車ノ廣幅ノ方ニ向ケ之ヲ積ムヘシ既ニ陳述セル如ク蒸餅ハ製造後二十四時間ヲ經過スルニアラサレハ積載スヘカラス若シ然ラサレハ下積ハ摧破シ或ハ熱氣ヲ含ミ徽ヲ生シ終ニ腐敗シテ食用ニ適シ難キ廢品トナルヘシ

輜馬車ハ濕氣ヲ忌メル蒸餅乾蒸餅等ノ如キ物品ヲ上載スル爲メ之ヲ用フ丁戊馬車ハ可成的他ノ物品ヲ運輸スル爲メニ用ユヘシ

名稱		糧食	麥、麥粉、米、米粒		蒸餅	
			百基入ノ嚢	八十基入ノ嚢	並	
					個數	嚢入
七十四年製歩聯隊馬車	行李ノ數		五	六	六百六十口量五貝	五百六十基
	正實		五百基	四百八十基	四百九十九基量	四百二十基
六十年製歩兵聯隊馬車	行李ノ數		四	五	五百口量	四百八十基
	正實		四百基	四百基	三百七十五基	三百六十基
徽聚馬車	行李ノ數		八	十	九百五十口量	八百基
	正實		八百基	八百基	七百十二基五貝	六十基
甲馬車	行李ノ數		十二	十五	千百六十口量	八百八十基
	正實		千二百基	千二百基	八百七十基量	六百六十基
乙、丙馬車	行李ノ數		十	十三	九百口量	八百基
	正實		千基	千四十基	六百七十五基	六百基
戊馬車	行李ノ數		十三	十六	千口量	九百基
	正實		千三百基	千二百八十基	七百五十基	六百七十二基

| | | |

名稱		積荷ノ時間（一）荷物積卸ニ要スヘキ人員（二）馬車	備考
歷東秣草	三 二百二十五基	十 七百五十基	十七 千二百七十五基
大麥 六十基入ノ嚢	八 四百八十基	六 三百六十基	十四 千五十基
大麥 七十基入ノ嚢	七 四百九十基	五 三百五十基	十二 八百四十基
烏麥 八十基入ノ嚢	六 四百八十基	五 四百基	十 八百基
同粉 八十基入ノ嚢	六 四百八十基	五 四百基	十 八百基
挽割麥 四十基入ノ嚢	十 四百基	九 三百六十基	二十 千二百基
薪炭			
薪	〇 五百基	〇 四百基	〇 八百基

| 種食 | | |

| | | |

挽劃麥 四十基入ノ裏	八 分	十九分十五分同 上
薪 炭		
薪	五分十分八分	五八乃至八八

前表ハ積荷ニ要スル時間及ヒ其積卸シニ要スル職工ノ員數ヲ知ラシムルニアリ

此ノ表ニヨレハ定數物品ノ運輸ニ要スル馬車ノ員數ヲ正確ニ筭當スルヲ得ヘシ是レ補充物品ノ送致頗ル繁忙ナル兵站首地ニ在テハ最モ緊要ナリトス」

事務ノ施行

此ノ章ニ於テ軍隊背後施行ニ係ハル運輸即チ第二線ノ事務ト師團並ニ本營所屬ノ運送具ヲ以テ施行スル運輸即チ第一線ノ事務トヲ區處シ其事務ニ隨ヒ運輸具ノ編成及ヒ其使用如何ヲ論究セントス

背後ノ事務

一軍ノ策源ニ連接スル鉄道線上ニ倉庫停車場ヲ設置シ以テ軍隊補充ノ中央所トナシ而シテ緩急ノ度ヲ測リ諸軍團ノ爲メニ設ケアル兵站首地ニ樞要ノ物品ヲ輸送シ又兵站首地ヨリ道路兵站ヲ經テ出戰軍隊ニ物品ヲ輸送スル等ノ件ハ既ニ前章ニ開示セシ所ナリ

背後ノ運輸事務ハ出戰軍隊ノ占有セル地方ニ及ホサス而シテ軍隊ノ前頭ヨリ背後五十吉羅米突ノ距離ニ於テ其前頭ニ平畫シタル一線外ニ止マルモノ

トス是レ出戰軍隊ト平行線トノ間ニ於テ軍隊付屬輜重ノ外ハ一モ動搖セシメサルノ目的ナレハナリ」

故ニ背後ノ運輸事務ハ兵站基地ヨリ出戰軍隊ノ背後二兵站ニ至ル間地ヲ以テ其執行地區ト爲ス是ニ由テ自在ニ鉄道或ハ河川車馬等ヲ用ヒテ物品ヲ運搬シ得ヘシ

鉄道、河川及ヒ溝渠等ニヨリ運輸ヲ施行スル件ハ既ニ論セシヲ以テ此ニ贅セス

馬車及ヒ馬脊ニ於ケル運輸ハ二方法ニヨリテ施行スルモノトス即チ通シ輜重、繼立輜重是レナリ

通シ輜重ノ運輸ハ距離ノ遠近ニ拘ラス出發地ヨリ到着地ニ至ルノ間凡テ挽馬及ヒ馭者ヲ迭換セサル

ヲ以テ一日ニ一兵站以上ヲ過行スル能ハス故ニ夜間ハ兵站ニ投宿シテ翌朝出發スルモノトス

繼立輜重ノ運輸ハ通シ輜重ニ比スレハ其進行疾速ナリ即チ二十四時間ニ二兵站以上ヲ踰ユルコヲ得ヘシ

各繼場ニ於テ挽馬ノミヲ迭換シ同車ヲ以テ全路ノ運輸ヲ爲スヘキヤ心算アルモ陣中ニ於テ形体及ヒ容積ノ異ナル徽發馬車ヲ使用スルヤハ各繼場ニ於テ荷物ノ積替ヲ爲サヽルヲ得ス而シテ此際物品ノ損失ハ免レ難シ

繼立輜重或ハ通シ輜重撰用ノ場合ハ豫テヨリ確定シ難キヿ衆人ノ知ル所ナリ然レ𪜈背後ノ事務ハ宜

ク繼立馬車ヲ撰用スヘシ蓋シ馬匹ノ飼養等充分ナルニヨリ其馳曜自在ニシテ晝夜之ヲ使用シ得ヘケレハナリ故ニ通シ輜重ニ比スレハ其運行速ニシテ補充事務ヲ保固ニスルニ於テ最モ便ナルヘシ且ツ各繼場ニ於テ多數ノ車馬ヲ備フルニ及ハス通シ輜重ヲ用ユルヨリハ之ニ反シ多量ノ秣菊ヲ費消スルノミナラス種々ノ困難ヲ生シ物品ハ永ク車中ニ暴露スヘキヲ以テ殆ト軍隊ノ食用ニ適シ難キ廢品トナリ且ツ之ヲ輸送スル爲メニ馬車ノ大縱列ヲ用ヰサルヲ得ス而シテ繼立輜重ハ可成的徽聚地方ノ近隣ニ使用シテ人民ノ困苦ヲ減省ナラシムヘキノ利アリ」若シ輜重ヲ縱列ニ編成セルヨリハ各列ヲ小分シ三乃至四ノ繼場ニ之ヲ配置スヘシ

然レヒ繼立輜重ノ使用ハ其保護ヲ要セサルヲ得ス故ニ若シ車馬ヲ警衛シ以テ敵ヲ防禦セシカ爲メ屢々戰爭ヲ開カサルヲ得サルヘキニヨリ寧ロ大輜重ヲ編成スルノ愈レルニ如カス又戰鬪後多數ノ負傷者ヲ運輸スルヤ或ハ兩翼或ハ退軍ノ動搖ニ際シ忽卒ニ倉庫ノ轉移ヲ要スルヤハ現在ノ物具等ヲ以テ大輜重ヲ編成スヘシ

此ノ如クス準備ノ周洽ナルモ尙ホ兵站首地及ヒ唯タ鉄道ノミニ是レ賴リテ軍隊ニ連續スル製造所ノ副監督ハ第二線事務ヲ終リ第一線事務ヲ始ムル其區域內ノ運輸ニ要スル馬車ノ員數ヲ可成的多數ニ算